

## 設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部設置
フリガナ者	コチダイガク 国立大学法人 高知大学
フリガナ者	コチダイガク 高知大学 (Kochi University)
新設学部等において養成する人材像	<p><b>【農林海洋科学部】</b> ①幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、山から海までの広範なフィールドにおける実践学習を展開し、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成する。 ②総合的な教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門的知識と実践的技術並びに、事象を俯瞰し科学的に思考する能力及び問題発見とそれらの解決策を発信できる能力を身につけさせる。</p> <p><b>【農林資源環境科学科】</b> ①農業、林業、ならびに、それらをとりまく生産環境、さらには、人と自然環境との共生に関わる広い基礎知識と深い専門知識を身につけ、農学関連分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる能力を具えながら、地域社会及び国際社会の健全な振興に貢献できる人材を育成する。 ②総合的な教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門的知識と実践的技術並びに、事象を俯瞰し科学的に思考する能力及び問題発見とそれらの解決策を発信できる能力を身につけさせる。 ③公務員、試験研究機関、農業関係団体、農業法人、教員(理科・農業)、農林業生産者、食品製造流通・種苗・農薬・農林業機械・農林業資材・農業土木・環境関連・建設関連の企業、青年海外協力隊、大学院進学</p> <p><b>【農芸化学科】</b> ①動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系等について、化学的な思考や手法等に基づいて深く探求できる技術者・研究者を育成する。 ②生命現象の探求、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系の多面的な理解等に必要知識と技術を修得させ、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力、構想力を身につけさせる。 ③公務員(国家公務員・地方公務員)、試験研究機関、農業関係団体、農業法人、教員(理科、農業)、企業(医薬品・化学・バイオ・食品・素材・環境・種苗・農薬・肥料メーカー等)、大学院進学</p> <p><b>【海洋資源科学科】</b> ①海洋資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し実際に行動し解決できる能力を有するとともに、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命化学に関する専門的知識を併せもった海洋資源管理にたけた実践力のある海洋専門人材を育成する。 ②分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かして、海洋生物生産、海底資源環境、海洋生命化学に関する専門的知識を身につけさせる。 ③公務員(国家公務員、地方公務員)、試験研究機関、教員(水産、理科)、水族館職員、企業(製造業、サービス業、環境アセスメント業、養殖業、化学系・医薬系企業)、青年海外協力隊、資源系コンサルタント、地質・建設系コンサルタント、海でのレジャー・観光業、エコツーリズム、大学院進学</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>① 安全な食料の確保、環境の保全及び生物資源の生産と有効活用等を農学の使命と位置づけ、これらを自由闊達な創造力と行動力をもって実践し、社会の健全な振興に貢献できる人材を育成する。 ② 農学関連分野及び一般教養分野を幅広く総合的に教育し、農学関連分野の専門的知識および一般教養の幅広い知識を修得し、持続可能な生産・発展、環境保全および循環型社会の概念を理解するとともに、問題発見、計画の立案、データの収集と整理、成果の提示、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を身につけさせる。 ③ 公務員(国家公務員、地方公務員)、試験研究機関、教員(理科、農業、水産)、農業関係団体、漁業関係団体、企業(食品、資材、医薬品、水産、コンサルタント、商社等)、青年海外協力隊、大学院進学</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p><b>【農林海洋科学部 農林資源環境科学科】</b> ・ 中学教員1種(理科)・高校教員1種(理科、農業) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 学芸員 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、学芸員資格関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ JABEE認定修習技術者(技術士補相当) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 測量士補 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 樹木医補 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 森林情報士2級 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 甲種危険物取扱者 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。</p> <p><b>【農林海洋科学部 農芸化学科】</b> ・ 中学教員1種(理科)・高校教員1種(理科) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 学芸員 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、学芸員資格関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 食品衛生監視員 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 食品衛生管理者 ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・ 甲種危険物取扱者 ① 国家資格、② 受験資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。</p>

	<p>【農林海洋科学部 海洋資源科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学教員1種(理科)・高校教員1種(理科、水産)</li> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要であり, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 学芸員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 学芸員資格関連科目の履修が必要であり, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 食品衛生監視員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul>
--	--

既設学部等において取得可能な資格	<p>【農学部農学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学教員1種(理科)・高校教員1種(理科、農業、水産)</li> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要であり, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 学芸員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか, 学芸員資格関連科目の履修が必要であり, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 食品衛生監視員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 食品衛生管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ JABEE認定修習技術者(技術士補相当)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 測量士補</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 樹木医補</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>・ 森林情報士2級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 国家資格, ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul>
------------------	---

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			
	学位又は称号	学位又は学科の分野					異動元	助教以上		うち教授			
			学位又は称号	学位又は学科の分野	異動元	助教以上			うち教授				
新設学部等の概要	農林海洋科学部 [Faculty of Agriculture and Marine Science]	農林資源環境科学科 [Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences]	4	90	-	360	学士(農学)	農学関係	平成28年4月	農学部農学科	30	9	
		農芸化学科 [Department of Agricultural Chemistry]	4	45	-	180	学士(農学)	農学関係	平成28年4月	計	30	9	
		海洋資源科学科 [Department of Marine Resource Science]	4	65	-	260	学士(海洋科学)	農学関係 理学関係	平成28年4月	農学部農学科	11	5	
	既設学部等の概要	農学部(廃止)	農学科	4	170	-	240	学士(農学)	農学関係	平成19年4月	理学部理学科	2	1
											医学部医学科	1	1
											海洋コア総合研究センター	3	3
		理学部	応用理学科	4	135	3年次5	550	学士(理学)	理学関係	平成19年4月	総合研究センター	4	0
											新規採用	6	2
											計	27	12
医学部	医学科	6	107	2年次5	672	学士(医学)	医学関係	平成16年4月	農学部農学科	14	9		
									農学部農学科	11	5		
									その他	3	2		
										退職	3	3	
										計	61	28	
										農学部応用理学科	32	12	
										退職	5	5	
										計	39	18	
										農学部海洋資源科学科	2	1	
										計	1	1	
										医学部医学科	228	38	
										退職	3	3	
										計	232	42	

<p>【備考欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学部の新設 人文社会科学部人文社会科学科 (275)</li> <li>・ 入学定員の変更等 理学部理学科 (△15) 理学部応用理学科 (△15) 人文学部人間文化学科(廃止) (△94 3年次編入6)(平成28年4月募集停止。3年次編入学定員は平成30年4月募集停止。) 人文学部国際社会コミュニケーション学科(廃止) (△83 3年次編入2)(平成28年4月募集停止。3年次編入学定員は平成30年4月募集停止。) 人文学部社会経済学科(廃止) (△98 3年次編入2)(平成28年4月募集停止。3年次編入学定員は平成30年4月募集停止。) 農学部農学科(廃止) (△170)(平成28年4月募集停止)</li> </ul>
--

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(農林海洋科学部農林資源環境科学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育	別紙(21頁～26頁)のとおり															
専	専門基礎科目 学科共通科目	フィールドサイエンス実習	1・通年	2					○	9	17	4	0	0	兼2	集中、オムニバス、共同
		農林学概論	1・1学期	2				○			2	2				オムニバス
		植物学	1・2学期	2				○		1	2	1				オムニバス
		生物学概論	1・1学期	2				○			1					
		地球科学概論	2・1学期		2			○							兼1	
		物理学基礎実験	2・1学期		1					○					兼1	集中
		基礎化学実験	2・1学期		2					○					兼2	集中
		化学基礎実験	2・2学期		1					○					兼16	集中
		生物学基礎実験	2・1学期		1					○	1	4				集中
		地学基礎実験	2・1学期		1					○					兼1	集中
		化学概論	1・2学期	2				○							兼16	オムニバス
		農林資源環境科学基礎実習Ⅰ	2・1学期	1						○	9	17	4			オムニバス
		水資源学	2・1学期	2				○			3	4				オムニバス
		物理学概論	2・1学期	2				○			1	3				オムニバス
		農林環境科学	2・1学期	2				○			1	3				オムニバス
		農林資源環境科学基礎実習Ⅱ	2・1学期	1						○	9	17	4			オムニバス
		農林資源環境科学基礎実習Ⅲ	2・1学期	1						○	9	17	4			オムニバス
		農学生産基礎	2・1学期	2				○			3	1				オムニバス
		生態学	2・1学期	2				○			2					オムニバス
		農林統計学	2・1学期	2				○			4					オムニバス
		農業インターン実習	2・1学期		1					○	9	17	4			集中、共同
		農山漁村論理入門	2・1学期		2			○			2	2				オムニバス
		現代応用生物科学	2・2学期		2			○			1					兼4
小計(23科目)		-	25	13	0			-	9	17	4	0	0	兼23	-	
門	専門応用科目 自然環境学領域 森林科学領域 生産環境管理学領域	農場実習Ⅰ	2・2学期		2				○	3	4	3				オムニバス
		動物生産学概論	2・2学期		2			○			1					
		食用作物学	2・2学期		2			○			1					
		施設生産学概論	2・2学期		2			○			1					
		暖地園芸学概論	2・2学期		2			○		2	2	3				オムニバス
		農業経営学	2・2学期		2			○				1				
		植物育種学Ⅰ	2・2学期		2			○		1						
		暖地農学基礎実験Ⅰ	2・2学期		2					○	3	4	3			オムニバス
		自然環境学実習Ⅰ	2・2学期		1					○	2	4				オムニバス
		自然環境学実習Ⅱ	2・2学期		1					○	2	4				オムニバス
		地域生態学	2・2学期		2			○			2					オムニバス
		自然環境学	2・2学期		2			○			2	4				オムニバス
		昆虫学	2・2学期		2			○			1					
		生物環境システム学	2・2学期		2			○			2					オムニバス
		熱帯環境論	2・2学期		2			○			1					
		森林生態学	2・2学期		2			○			2					オムニバス
		木質成分化学	2・2学期		2			○			1					
		森林科学入門演習	2・2学期		2					○	1	4	1			オムニバス、共同
		森林マネジメント論	2・2学期		2			○				1				
		森林マネジメント演習	2・2学期		1					○			1			
		森林生産技術実習Ⅰ	2・2学期		1					○	1					
		森林資源循環利用学	2・2学期		2			○				1				
		地理情報システム学・演習	2・2学期		3			○			1					
土壌物理学	2・2学期		2			○				1						
環境デザイン	2・2学期		2			○			1							
科学・技術の倫理	2・2学期		2			○				1						
水理学・実験	2・2学期		3			○				1				※実験		
環境水質学・実験	2・2学期		3			○			1					※実験		
情報解析学演習	2・2学期		1					○	1	1						
環境材料学・実験	2・2学期		3			○				1				※実験		
生産環境管理学特別講義Ⅰ	2・2学期		1			○			3	4				集中		
小計(31科目)		-	0	60	0			-	9	7	4	0	0	兼0	-	
専	専門発展科目 暖地農学領域	植物工場	3・1学期		2				○		1					
		地域活性化論	3・1学期		2				○		2					オムニバス
		外国書講読Ⅰ	3・1学期	1						○	9	17	4			オムニバス
		外国書講読Ⅱ	3・2学期	1						○	9	17	4			共同
		農場実習Ⅱ	3・1学期		2					○	1	2	2			オムニバス
		家畜管理学	3・1学期		2					○		1				
		動物生産・繁殖学	3・1学期		2					○						兼1
		熱帯農業論	3・1学期		2					○	2		1			オムニバス
施設生産システム学	3・1学期		2					○		1						
農産環境調節学	3・1学期		2					○		1				※自然環境領域科目を兼ねる。		



## I 設置の趣旨・必要性

## 1. 社会的要請への対応

高知大学農学部は、高知県を中心とした南四国地域及び黒潮流域圏の豊かな自然と風土のもとで、安全な食料の確保、環境の保全及び生物資源の生産と有効活用を農学の使命と位置付け、平成19年の5学科制から1学科制への移行に伴い、一括入試による入学後の柔軟な分野選択を可能にする教育体制を構築するとともに、農林水産業全体をほぼカバーする8コース（「暖地農学」、「海洋生物生産学」、「食料科学」、「生命化学」、「自然環境学」、「流域環境工学」、「森林科学」、「国際支援学」）を1学科内に設置することで、地域社会と国際社会の発展に貢献できる人材育成に取り組んできた。

しかしながら、一括入試による1学科8コース制のもとでは、化学の基礎的な知識を持たない学生の増加をはじめ修士課程進学率の低迷など、様々な課題が生じてきている。一方、我が国は、日本経済の再生に向け、食料自給率の向上の観点から「攻めの農業」として「農業振興」を成長戦略の一つに位置づけており、同施策に直結する農畜産物の高付加価値化や新品種・新技術の開発・普及、食品のブランド化等にあたっては、農業従事者だけでなく、大学等の高等教育機関における研究開発や人材育成、産学官の連携が必要不可欠である。また、平成25年に策定された海洋基本計画では、「海洋産業の振興と創出に関わる人材の育成」、「海洋教育に関わる人材の育成」が重点的な取組として位置づけられており、地域の特性を最大限活かした人材育成の推進が必要とされている。

本学が所在する高知県においては、「第2期産業振興計画」において、本県の強みである第一次産業における「農産物の高収量化と高品質化」や、「素材を生かした加工立県」を目指すこととしている。県内では馬路村の「ゆず」をはじめとする主力農産物を加工した製品の全国販売が注目を集めるなど、農芸化学と密接に関連した産業振興やその人材ニーズが高まりを見せており、産学官連携による技術革新や機能性成分を生かした商品開発などに対して大きな期待が寄せられている。

また、第2期産業振興計画においては、漁業生産量の確保、養殖業、水産加工の振興といった水産業の振興政策や海洋深層水の利用拡大の推進、海洋深層水の新たな分野への展開と地元産業の事業化支援、高付加価値商品等への利用検討といった産業振興を重要な柱としており、近年では、土佐沖が最大の推定埋蔵域とされるメタンハイドレートをはじめ、大陸棚や深海底の生物・鉱物など豊富な未利用海洋資源の有効活用に関する社会からの期待も大きい。

このような社会の要請に応えるためには、現行の1学科8コース制のもとでは課題解決が困難であることから、このたび、これまでの農学部の実績や全国共同利用・共同研究拠点である「高知大学海洋コア総合研究センター」の研究資源等を有効に活用しつつ、「農学科」を「農林資源環境科学科」、「農芸化学科」、「海洋資源科学科」の3学科へと移行する。

## 2. 養成する人材像

## ○農林海洋科学部

幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成する。

## ○農林資源環境科学科

生物、化学、物理学、社会学の基礎を身につけさせた上で、幅広い教養と、植物・生態・水資源の本質、農林業に関する環境・生産・統計処理に関する知識・技術を修養させる。さらに、植物・動物の生産と生産管理を主体とした農学、森林の育成・管理と木材の加工・利用を主体とした森林科学、農環境と自然環境の保全と利用を主体とした自然環境学、農林生産環境の構築と管理・利用を主体とした生産環境管理学を多面的・複合的に理解するために必要な専門知識と実践技術を総合的に修得させ、広い視点で事象を的確に捉え科学的に思考する方法を身につけさせることを目的として教育を行う。そして、農業、林業、ならびに、それらを取りまく生産環境、さらには、人と自然環境との共生に関わる広い基礎知識と深い専門知識を身に付け、農学関連分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる能力を備えながら、地域社会及び国際社会の健全な振興に貢献できる技術者・研究者を育成する。

こうした人材の育成には、学部・学科ごとのディプロマポリシー（学位授与の方針）が不可欠である。

## 【ディプロマポリシー】

## ○農林海洋科学部

【知識・理解】幅広い教養と農学、海洋科学のそれぞれの分野における専門的知識と実践的技術を統合的に身につけ、的確な理解力を有している。

【思考・判断】農学、海洋科学のそれぞれの分野における専門的知識・実践的技術と幅広い教養を統合させ、適切に活用する思考方法を身につけ、妥当な判断ができる。

【関心・意欲】農学、海洋科学のそれぞれの分野に対して常に関心を持ち、的確な判断に基づいて問題を解明しようとする意欲を有している。

【態度】地域社会及び国際社会の健全な発展に寄与しようとする態度を有し、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

【技能・表現】農学、海洋科学のそれぞれの分野に固有の研究手法の基礎を身につけている。自分の意見や考えを的確に表現でき、異分野を含む様々な人とそれぞれの分野に関連した意見交換ができる汎用的能力を身につけている。

## ○農林資源環境科学科

【知識・理解】農・林生産とそれを取りまく生産環境、及び人とくらしを取りまく自然環境に関連する専門的知識と実践的技術を修得し、持続可能な生産・発展、環境保全及び循環型社会の概念を理解している。

【思考・判断】身につけた知識を活用して、農林資源環境科学の最新の成果を理解することができる。データに基づいて客観的、かつ、論理的に考察し、修得した知識や技術を、問題解決のために正しく活用して適切な結論を導くことができる。

【関心・意欲】農林資源環境科学に関する知識を積極的に求め、主体的に自ら問題解決にあたらうとする意欲をそなえている。

【態度】技術者・研究者として備えるべき責任と役割を自覚し、農林資源環境科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献しようとする態度をそなえている。

【技能・表現】日本語及び英語による表現力、理解力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション・ディベート能力を修得しており、異分野を含む様々な人と農林資源環境科学分野に関連した意見交換ができる素養を身につけている。実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、データの収集と整理、成果の提示、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を修得している。

## II. 教育課程編成の考え方・特色

## ○農林海洋科学部

## (1) 全学共通教育科目（初年次科目、教養科目）

初年次科目の「大学基礎論」、「学問基礎論」（全学必修、各学部教員が担当）において、農学・海洋科学の理念、ならびに基本となる知識や学び方を、グループワークの手法を多く取り入れながら修得させる。また、「課題探求実践セミナー」（全学必修、各学部教員が担当）では、学術的あるいは地域での課題をフィールドワークを行いながら自ら探索し、その解決に自律的に取り組む課題探究力と協働実践力を身につけさせる。さらに「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」（いずれも全学必修）では、農学・海洋科学を学ぶために必須となる情報収集・活用能力や国際コミュニケーション能力を育成する。その他、「里山・里川の環境科学」、「土佐の自然と農業」、「フードサイエンスの世界」、「ライフサイエンスの世界」、「生態系への人為的インパクト」、「魚と食と健康」など、多くの教養科目（選択科目）を提供して、農学・海洋科学に関係する幅広い教養を涵養し、教養と専門知識を統合して外部に働きかける能力の基盤を育成する。

## (2) 学部共通の必修科目「フィールドサイエンス実習」の拡充

ミッションの再定義において、現農学部は、これまでに培われてきた実績を活かしながら、今後、海洋教育を更に充実させ、農林水産学・海洋資源科学関連分野において、地域社会・国際社会で現場主義に立つて活躍できる人材を育成することを宣言した。この現場主義の考え方を具現化すべく、現農学部では、山・森林から海に至る実地教育に適したフィールドが近距離に揃う高知県のメリットを活かし、構成全領域の実習を「フィールドサイエンス実習」として必修履修させてきたが、農林海洋科学部では、従来の「山から海」までの5分野（「農場」、「森林」、「河川」、「応用/生物科学」、「海洋」：各分野6時間）に加えて、さらに広く6分野目としての「海底」までを包含した生命圏全体を扱う実習コンテンツへと拡充する。あわせて、各分野の授業時間数を6時間から10時間に拡充し、総授業時間数を従来の30時間（1年次1学期開講科目、1単位）から60時間（1年次通年科目、2単位）に増やすことで、1年を通しての生物層・作業層に対応した実習コンテンツへと拡充する。新学部の理念を学ばせる「大学基礎論」、「学問基礎論」や、各学科の提供する「農林学概論」、「農芸化学概論」、「海洋科学概論」などの座学から得られる知識と、「フィールドサイエンス実習」で体験的・実践的に獲得させる知識・技術とを往還させて農学・海洋科学を学ぶことの意義を学生に理解させるとともに、この領域について深く学ぼうとする意欲を育む。

**(3) 体系的な学びを提供するための科目区分と社会科学系科目の配置**

学部共通の必修科目の他、学科ごとに「学科共通科目」を設定して、専門科目を学ぶための基本的素養を身につけさせる。専門科目は、各学科あるいはカリキュラムコースのカリキュラムマップの構成にあわせて、学科の入門的・基軸的科目である「専門基礎科目」、基幹科目である「専門応用科目」、より先端性を備えた細目科目である「専門発展科目」に区分し、これら科目にナンバリングを行って体系的に配置することにより、学生が当該学科で身に付けるべき専門知識を順序よく段階的に修得しやすい構成とする。

また、本学部では、自然科学だけでなく社会科学の専門能力も統合的に身に付けることを学部の養成する人材像として掲げていることから、社会科学系の科目として、共通教育科目や各学科独自の専門科目（「農業経営学」、「フードビジネス概論」、「海洋管理政策論」など）のほか、学部共通の専門科目として、農山漁村振興や地域活性化に関する知識を得る「農山漁村論理入門」、「地域活性化論」を置く。

**(4) 学部横断型教育プログラム**

地域社会、国際社会が有する様々な課題に対し、総合的な教養と専門的知識・技術、俯瞰力を持って主体的に取り組める能力をさらに深化させた人材を育成するために、農林海洋科学部では、各学科における専門的知識の涵養に加え、それとは異なる視点から、あるいは、より実践的視点から学ばせるための学部横断型教育プログラム（国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラム）を配置する。この教育プログラムは、学生の希望により、所属学科のカリキュラムに加えて副専攻的に履修させ、指定の単位数を修得した者に修了証書を授与する。

**○農林資源環境科学科**

農林資源環境科学科は、農学、森林科学、自然環境学、生産環境管理学等に関する専門的知識と実践的技術を総合的に修得させるとともに、広い視点で事象を的確に捉え科学的に思考する方法を身に付けさせることを目的として教育を行う。そして、農業、林業、ならびに、それらを取りまく生産環境、さらには、人と自然環境との共生に関わる広い基礎知識と深い専門知識を身に付け、農学関連分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる能力を備えながら、地域社会及び国際社会の健全な振興に貢献できる人材を育成するため、以下のような教育課程を編成する。

**【教育課程の考え方】**

**<共通教育科目>**

**初年次科目（1年次 必修科目12単位）**

「大学基礎論」、「学問基礎論」、「課題探求実践セミナー」、「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」の6科目を履修させ、「大学基礎論」、「学問基礎論」では、農学・海洋科学の理念と意義、基本となる知識や学びの方法を修得させる。「課題探求実践セミナー」では、課題を自ら探索し、その解決に自律的に取り組む課題探究力と協働実践力を身につけさせる。「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」では、農学を学ぶために必須となる情報収集・活用能力や国際コミュニケーション能力を育成する。

**教養科目（28単位）**

「里山・里川の環境科学」、「土佐の自然と農業」、「フードサイエンスの世界」、「ライフサイエンスの世界」、「生態系への人為的インパクト」、「魚と食と健康」、及び他学部教員が担当する多様な教養科目から選択履修させ、教養と専門知識を統合して外部に働きかける能力の基盤を育成する。

**<専門科目>**

**専門基礎科目（学科共通科目：必修科目を1年次から2年次第1学期に履修）**

1年次に「農林学概論」「生物学概論」「化学概論」「植物学」、2年次第1学期に「物理学概論」「水資源学」「農学生産基礎」「生態学」「農林統計学」「農林環境科学」「農林資源環境科学基礎実習Ⅰ」「農林資源環境科学基礎実習Ⅱ」「農林資源環境科学基礎実習Ⅲ」の学科共通科目を必修科目として配置し、農林資源環境科学を学ぶための基礎知識と基本的技能を身に付けさせる。

**専門応用科目（専攻領域に応じ、2年次第2学期に履修）**

2年次第2学期に4領域（「暖地農学領域」、「自然環境学領域」、「森林科学領域」、「生産環境管理学領域」）の概論的科目とそれらに関連する実験科目を配置し、4領域の中から学生に主専攻領域を選択させる。このことにより、専門基礎科目から一歩進んだより専門的な知識と実践的技術及び知識を積極的に求め主体的に問題解決にあたらうとする意欲を涵養する。

**専門発展科目（専攻領域に応じ、3年次から4年次に履修。一部学科共通科目）**

専門性の深化の観点から、3年次に産業や職種、資格取得などに対応した発展的あるいは先端的内容を扱う科目を4領域に配置し、学生に専門応用科目と同一の主専攻領域を履修させることで、各領域における細分化された専門分野をさらに深く修養する。

また、学科共通科目として、3年次に表現力・国際力の涵養として「外国書購読Ⅰ」「外国書購読Ⅱ」を配置するとともに、最終学年には、卒業論文関連科目を配置し、問題発見、計画立案、データ収集・整理、成果の提示、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を身に付けさせるとともに、様々な人と農林資源環境科学分野に関連した意見交換ができるコミュニケーション能力、プレゼンテーション・ディベート能力を身につけさせる。また、科学者・技術者の責任と役割を自覚し、農林資源環境科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献できる能力を養う。

**【特色①】副専攻領域の選択による学際性の拡大・担保**

学際性の拡大・担保を図るため、専門応用科目・専門発展科目の履修に当たって、本学科の学生は、原則として、主専攻領域とは別に副専攻領域1領域を選択し、複数領域の科目を習得することとし、そのことで、ひとつの分野にとどまらない柔軟な思考力と幅広い知識を身に付ける。

**【特色②】多彩な実習科目**

学部附属の暖地フィールドサイエンス教育研究センターをはじめとして、大学から近い距離に実習運営に適したフィールドを活用し、「農林資源環境科学基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「農場実習Ⅰ」、「自然環境学実習Ⅰ・Ⅱ」、「森林生産技術実習Ⅰ」、「農場実習Ⅱ・Ⅲ」、「森林生産技術実習Ⅱ」、「樹木学実習」、「森林環境政策学実習」、「山地測量設計実習」、「測量学・実習」、「地域協働インターンシップ」、「農業インターン実習」を開講する。学生は専攻領域の区分を超えて興味のある実習を自由に履修することが可能であり、講義によって修得した知識を実験や実習の体験を通して、より深い学びとして連結させることができる。これら実習科目の履修によって実践的技術を身につけさせるとともに、自ら問題解決に取り組む能力や態度・意欲を涵養する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><b>【卒業要件】</b> 共通教育科目40単位（うち初年次科目12単位は必修）、専門科目84単位以上（うち必修科目35単位）を修得し、合計124単位以上修得すること。</p> <p><b>【履修方法】</b> 共通教育科目（40単位） ・初年次科目 12単位 「大学基礎論」「学問基礎論」 「課題探求実践セミナー」「大学英語入門」 「英会話」「情報処理」の6科目（各2単位）が必修 ・教養科目 28単位</p> <p>専門科目（必修科目35単位、選択科目49単位の計84単位）  <b>&lt;専門基礎科目&gt;</b>            ・必修科目            「フィールドサイエンス実習」「農林学概論」            「生物学概論」「化学概論」「植物学」            「農林資源環境科学基礎実習Ⅰ」「物理学概論」            「水資源学」「農学生産基礎」「生態学」「農林統計学」            「農林環境科学」「農林資源環境科学基礎実習Ⅱ」            「農林資源環境科学基礎実習Ⅲ」</p> <p><b>&lt;専門応用科目&gt;</b>            ・選択科目</p>	1学年の学期区分	2学期

<p>専門応用科目の履修にあたっては、主専攻領域と副専攻領域を各1つ選択。主専攻領域の科目11単位以上、副専攻領域の科目5単位以上を履修。</p> <p>なお、履修にあたっては選択した領域に応じて必修科目を設ける。</p> <p>「暖地農学領域」を主専攻領域に選択した者は次の科目を必修 「暖地農学基礎実験Ⅰ」「農場実習Ⅰ」（4単位）</p> <p>「自然環境学領域」を主専攻領域に選択した者は次の科目を必修 「自然環境学実習Ⅰ」「自然環境学実習Ⅱ」「自然環境学」「昆虫学」「生物環境システム学」「地域生態学」「熱帯環境論」（12単位）</p> <p>「森林科学領域」を主専攻領域に選択した者は次の科目を必修 「森林生産技術実習Ⅰ」「森林科学入門演習」（3単位）</p> <p>「生産環境管理学領域」を主専攻領域に選択した者は次の科目を必修 「情報解析学演習」「水理学・実験」「環境材料学・実験」「環境水質学・実験」「生産環境管理学特別講義Ⅰ」（11単位）</p> <p>《専門発展科目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目 <ul style="list-style-type: none"> <li>「外国書購読Ⅰ」「外国書購読Ⅱ」</li> <li>「卒業論文」「卒業論文演習Ⅰ」「卒業論文演習Ⅱ」</li> </ul> </li> <li>・選択科目 <ul style="list-style-type: none"> <li>選択科目の履修にあたっては、専門応用科目で選択した主専攻領域と同一の領域の科目8単位以上、副専攻領域と同一の領域の科目6単位以上を履修</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">要総修得単位数124単位 (履修科目の登録の上限：各学期22単位)</p>	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要 (事前伺い)

(農林海洋科学部農芸化学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	別紙 (21頁～26頁) のとおり																
専門基盤科目	フィールドサイエンス実習	1・通年	2					○	9	4	1			兼2	集中、オムニバス、共同		
	農芸化学概論	1・1学期	2			○			9	4	1			兼2			
	植物資源科学	1・2学期	2			○			1								
	基礎分析化学	2・1学期	2			○			1								
	土壌学	2・1学期	2			○			1								
	基礎有機化学	2・1学期	2			○			1								
	生物化学	2・1学期	2			○					1						
	食品化学	2・1学期	2			○				1							
	植物感染病学	2・1学期	2			○			1								
	動物生産・繁殖学	2・1学期	2			○			1								
	農山漁村論理入門	2・1学期		2		○								兼4			
	地域活性化論	3・1学期		2		○								兼4			
	生物学概論	1・1学期		2		○								兼1			
	化学概論	1・2学期		2		○			9	4	1			兼2			
	物理学概論	2・1学期		2		○								兼1			
	地球科学概論	2・1学期		2		○								兼1			
	物理学基礎実験	1・1学期		1				○						兼1			
	基礎化学実験	2・1学期		2				○						兼2			
	化学基礎実験	2・2学期		1				○	9	4	1			兼2			
	生物学基礎実験	2・1学期		1				○						兼5			
	地学基礎実験	2・1学期		1				○						兼1			
	専門科目	生物環境化学実験	2・2学期	2					○	3	1						
		植物化学実験	2・2学期	2					○	3							
		動植物健康化学実験	3・1学期	2					○	1	2						
		微生物化学実験	3・1学期	2					○	2	1	1					
		外書講読Ⅰ	2・2学期	1				○		9	4	1		兼2		集中	
		外書講読Ⅱ	3・1学期	1				○		9	4	1		兼2		集中	
		生物環境化学科目群	無機化学	2・1学期		2		○				1					
			土壌環境科学	2・2学期		2		○			1						
			植物栄養学	2・2学期		2		○				1					
			植物生育環境学	3・1学期		2		○			1						
			土壌微生物生態学	3・2学期		2		○			1						
			生物環境分析学	4・1学期		2		○			1						
	専門応用科目	動植物健康化学科目群	有機化学	2・2学期		2		○			1						
			植物細菌学	2・2学期		2		○			1						
			動物発生工学	2・2学期		2		○									
食品分析学			2・2学期		2		○				1						
農産物利用学			3・1学期		2		○				1			食品保存学と隔年開講			
食品保存学			3・1学期		2		○				1			農産物利用学と隔年開講			
生理活性物質化学			3・1学期		2		○			1							
植物微生物相互作用論			3・1学期		2		○			1							
機器分析学			3・1学期		2		○					1					
生物有機化学			3・1学期		2		○				1						
農薬化学			3・2学期		2		○				1						
水産物利用学			3・1学期		2		○				1						
水産物品質管理学		3・1学期		2		○			1								
水産食品原料学		3・2学期		2		○				1							
微生物化学科目群		微生物学	2・1学期		2		○							兼1			
		食品生化学	2・1学期		2		○			1							
		代謝生化学	2・2学期		2		○					1					
		応用微生物学	2・2学期		2		○			1							
	微生物生理学	2・2学期		2		○				1							
	栄養化学	3・1学期		2		○			1								
微生物化学科目群	微生物遺伝子工学	3・1学期		2		○				1			兼1				
	食品衛生学	3・1学期		2		○				1							
	生体高分子化学	3・2学期		2		○			1								





## II. 教育課程編成の考え方・特色

### ○農林海洋科学部

#### (1) 全学共通教育科目（初年次科目、教養科目）

初年次科目の「大学基礎論」、「学問基礎論」（全学必修、各学部教員が担当）において、農学・海洋科学の理念、ならびに基本となる知識や学び方を、グループワークの手法を多く取り入れながら修得させる。また、「課題探求実践セミナー」（全学必修、各学部教員が担当）では、学術的あるいは地域での課題をフィールドワークを行いながら自ら探索し、その解決に自律的に取り組む課題探究力と協働実践力を身につけさせる。さらに「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」（いずれも全学必修）では、農学・海洋科学を学ぶために必須となる情報収集・活用能力や国際コミュニケーション能力を育成する。その他、「里山・里川の環境科学」、「土佐の自然と農業」、「フードサイエンスの世界」、「ライフサイエンスの世界」、「生態系への人為的インパクト」、「魚と食と健康」など、多くの教養科目（選択科目）を提供して、農学海洋科学に関係する幅広い教養を涵養し、教養と専門知識を統合して外部に働きかける能力の基盤を育成する。

#### (2) 学部共通の必修科目「フィールドサイエンス実習」の拡充

ミッションの再定義において、現農学部は、これまでに培われてきた実績を活かしながら、今後、海洋教育を更に充実させ、農林水産学・海洋資源科学関連分野において、地域社会・国際社会で現場主義に立って活躍できる人材を育成することを宣言した。この現場主義の考え方を具現化すべく、現農学部では、山・森林から海に至る実地教育に適したフィールドが近距離に揃う高知県のメリットを活かし、構成全領域の実習を「フィールドサイエンス実習」として必修履修させてきたが、農林海洋科学部では、従来の「山から海」までの5分野（「農場」、「森林」、「河川」、「応用/生物科学」、「海洋」：各分野6時間）に加えて、さらに広く6分野目としての「海底」までを包含した生命圏全体を扱う実習コンテンツへと拡充する。あわせて、各分野の授業時間数を6時間から10時間に拡充し、総授業時間数を従来の30時間（1年次1学期開講科目、1単位）から60時間（1年次通年科目、2単位）に増やすことで、1年を通しての生物暦・作業暦に対応した実習コンテンツへと拡充する。新学部の理念を学ばせる「大学基礎論」、「学問基礎論」や、各学科の提供する「農林学概論」、「農芸化学概論」、「海洋科学概論」などの座学から得られる知識と、「フィールドサイエンス実習」で体験的・実践的に獲得させる知識・技術とを往還させて農学・海洋科学を学ぶことの意義を学生に理解させるとともに、この領域について深く学ぼうとする意欲を育む。

#### (3) 体系的な学びを提供するための科目区分と社会科学系科目の配置

学部共通の必修科目の他、学科ごとに「学科共通科目」を設定して、専門科目を学ぶための基本的素養を身につけさせる。専門科目は、各学科あるいはカリキュラムコースのカリキュラムマップの構成にあわせて、学科の入門的・基軸的科目である「専門基盤科目」、基幹科目である「専門応用科目」、より先端性を備えた細目科目である「専門発展科目」に区分し、これら科目にナンバリングを行って体系的に配置することにより、学生が当該学科で身に付けるべき専門的知識を順序よく段階的に修得しやすい構成とする。

また、本学部では、自然科学だけでなく社会科学の専門能力も統合的に身に付けることを学部の養成する人材像として掲げていることから、社会科学系の科目として、共通教育科目や各学科独自の専門科目（「農業経営学」、「フードビジネス概論」、「海洋管理政策論」など）のほか、学部共通の専門科目として、農山漁村振興や地域活性化に関する知識を得る「農山漁村論理入門」、「地域活性化論」を置く。

#### (4) 学部横断型教育プログラム

地域社会、国際社会が有する様々な課題に対し、総合的な教養と専門的知識・技術、俯瞰力を持って主体的に取り組める能力をさらに深化させた人材を育成するために、農林海洋科学部では、各学科における専門的知識の涵養に加え、それとは異なる視点から、あるいは、より実践的視点から学ばせるための学部横断型教育プログラム（国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラム）を配置する。この教育プログラムは、学生の希望により、所属学科のカリキュラムに加えて副専攻的に履修させ、指定の単位数を修得した者に修了証書を授与する。

### ○農芸化学科

#### 【特色】科目体系と専門科目の「科目群」

農芸化学科の教育課程では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、環境保全と修復、生物生態系などを、主に化学的視点から総合的に教育するため、すべての専門科目を「学科共通科目群」、「生物環境化学科目群」、「動植物健康化学科目群」、「微生物化学科目群」に分類する。

#### 【教育課程の考え方】

##### <共通教育科目>

##### 初年次科目（1年次 必修科目12単位）

「大学基礎論」、「学問基礎論」、「課題探求実践セミナー」、「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」の6科目を履修させ、「大学基礎論」、「学問基礎論」では、農学・海洋科学の理念と意義、基本となる知識や学びの方法を修得させる。「課題探求実践セミナー」では、課題を自ら探索し、その解決に自律的に取り組む課題探究力と協働実践力を身につけさせる。「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」では、農学を学ぶために必須となる情報収集・活用能力や国際コミュニケーション能力を育成する。

##### 教養科目（28単位）

「里山・里川の環境科学」、「土佐の自然と農業」、「フードサイエンスの世界」、「ライフサイエンスの世界」、「生態系への人為的インパクト」、「魚と食と健康」及び他学部教員が担当する多様な教養科目から選択履修させ、教養と専門知識を統合して外部に働きかける能力の基盤を育成する。

##### <専門科目>

##### 専門基盤科目（学科共通科目：主に1年次から2年次に履修）

「学科共通科目群」として、1年次に農学及び農芸化学の基礎となる「フィールドサイエンス実習」（学部共通科目）、「農芸化学概論」、1～2年次に「植物資源科学」、「基礎分析化学」、「土壌学」、「基礎有機化学」、「生物化学」、「食品化学」等を段階的に配置し、化学を基盤とする農学研究への関心を高めるとともに、化学の基礎知識を総合的に教育する。

##### 専門応用科目（主に2年次2学期から3年次に履修）

「学科共通科目群」として、「生物環境化学実験」、「動植物健康化学実験」、「植物化学実験」、「微生物化学実験」を配置し、専門基盤科目で修得した化学の基礎知識をもとに、化学的視点から生物生産を幅広く探究するために必要となる一般的な実験技術・研究手法を身につけさせる。また、「外書講読Ⅰ、Ⅱ」を配置し、技術の修得や研究活動を始めるのに必要な基礎的な英語力を修得させる。

「生物環境化学科目群」として、「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」等の生物の生命活動を支える土壌環境や土壌-植物系における物質動態に関する科目を履修させ、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に理解・考察させる。「動植物健康化学科目群」として、「植物細菌学」、「動物発生工学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」等の科目を配置し、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進などについて多面的に理解させ、食料生産への応用について考察させる。「微生物化学科目群」として、「応用微生物学」、「代謝生化学」、「微生物遺伝子工学」等の科目を配置し、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用など、微生物の機能を食料生産等に利用することについて、多面的な理解・考察を深めさせる。

##### 専門発展科目（主に3年次2学期から4年次に履修）

「学科共通科目」として、「農芸化学応用実験Ⅰ、Ⅱ」を配置し、専門応用科目で修得した一般的実験技術・研究手法をさらに深化させるために必要となる各分野での専門的な実験技術・研究手法を身につけさせる。また、「卒論関連科目」として「卒業論文演習Ⅰ、Ⅱ」と「卒業論文」を配置し、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系などに関する先端研究に取り組みさせ、問題発見、計画の立案、データの収集と整理、成果の提示（プレゼンテーション・ディベート）、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を養成する。さらに、先端研究を行うために必要な英語力も身につけさせる。そして、学科全教員による卒業論文の最終審査を行い、必要な知識・技術・展開力など、十分な専門能力を身につけていることを確認する。

これらの卒業関連科目に加えて「先端農芸化学研修」、「フードビジネス概論」等を学科共通科目群に配置し、研究成果を地域社会への貢献に結びつけることに対する意欲を向上させるとともに、異分野を含む様々な人と農芸化学分野に関連した意見交換ができる素養を身につけさせ、地域社会及び国際社会のなかでの技術者や研究者の責任と役割の自覚を促す。

また、平成24年度に本学の総合人間自然科学研究科には、健全な植物生育環境の構築、病虫害の予防・診断・治療・障害発生メカニズムの解明、植物が有する様々な機能の高度利用、生産物・残渣の高付加価値化などに関連した知識・技術を領域横断的に修得すると共に、関連する最先端の研究を行うため、「植物医学準専攻」が設置された。本学科では、当準専攻への進学を本学科の学生の重要な進路と位置づけ、「植物医学準専攻」での研究活動に必要な、広範な植物科学に関する知識や思考についての教育を行うため、4年次に「植物医学概論」を配置する。

なお、専門基盤科目の10科目と一部の科目を除く専門発展科目ならびに専門応用科目の実験科目と外書講読は、必修科目（42単位）として開講する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><b>【卒業要件】</b>            共通教育科目40単位（うち初年次科目12単位は必修）、専門科目84単位以上（うち必修科目42単位）を修得し、合計124単位以上修得すること。</p> <p><b>【履修方法】</b>            共通教育科目（40単位）            ・初年次科目（必修科目）12単位              「大学基礎論」「学問基礎論」              「課題探求実践セミナー」「大学英語入門」              「英会話」「情報処理」の6科目（各2単位）が必修            ・教養科目 28単位</p>	1 学年の学期区分	2 学期
<p>専門科目（必修科目42単位、選択科目42単位の計84単位）            &lt;&lt;専門基盤科目&gt;&gt;            ・必修科目              「フィールドサイエンス実習」「農芸化学概論」              「植物資源科学」「基礎分析化学」「土壌学」              「基礎有機化学」「生物化学」「食品化学」              「植物感染病学」「動物生産・繁殖学」            &lt;&lt;専門応用科目&gt;&gt;            ・必修科目              「生物環境化学実験」「動植物健康化学実験」              「植物化学実験」「微生物化学実験」              「外国書購読Ⅰ」「外国書購読Ⅱ」</p>	1 学期の授業期間	1 5 週
<p>&lt;&lt;専門発展科目&gt;&gt;            ・必修科目              「農芸化学応用実験Ⅰ」「農芸化学応用実験Ⅱ」              「専門外書講読Ⅰ」「専門外書講読Ⅱ」              「卒業論文演習Ⅰ」「卒業論文演習Ⅱ」              「卒業論文」</p> <p>要総修得単位数124単位            （履修科目の登録の上限：各学期22単位）</p>	1 時限の授業時間	9 0 分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(農林海洋科学部海洋資源科学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙(21頁~26頁)のとおり														
専門科目	専門基礎科目	海洋科学概論	1・1学期	2			○			12	11	2	2		オムニバス
		海洋地球科学概論	1・1学期	2			○			1					
		生物学概論	1・1学期		2			○							兼1
		沿岸域防災学(沿岸海洋系)	1・2学期		2			○							兼1
		海洋生物学概論(海洋一般系)	1・2学期		2			○							兼1
		海洋ケミカルバイオロジー(海洋一般系)	1・2学期		2			○		2	2			2	オムニバス
		海洋化学概論(海洋一般系)	1・2学期		2			○							兼1
		沿岸生産環境学(沿岸海洋系)	1・2学期		2			○							兼1
		海洋基礎生態学	2・1学期	2				○							兼1
		水産学概論	2・1学期	2				○		1	1				オムニバス
		魚類学概論(水産海洋系)	2・1学期		2			○			1				
		水質学(沿岸海洋系)	2・1学期		2			○			1				
		化学概論	2・1学期		2			○			1				
		物理学概論	2・1学期		2			○			1				兼4
		地球科学概論	2・1学期		2			○			1				
		農山漁村論理入門	2・1学期		2			○							兼4
		海洋微生物学	2・2学期		2			○							兼1
		海洋物理学概論(海洋一般系)	2・2学期		2			○		1					
		海洋鉱物資源学概論(海洋一般系)	2・2学期		2			○							兼1
		沿岸域工学(沿岸海洋系)	2・2学期		2			○							兼1
		科学英語Ⅰ	2・2学期	1					○	12	11	2	2		オムニバス
		フィールドサイエンス実習	1・通年	2						12	11	2	2		兼中、オムニバス、共同
		物理学基礎実験	1・1学期		1						1				兼中
		化学基礎実験	1・2学期		1					1		1			兼中
		基礎化学実験	2・1学期		2					1	1				兼中
		生物学基礎実験	2・1学期		1										兼5
		地学基礎実験	2・1学期		1					1	1				兼中
	小計(27科目)		—	11	38	0			—	12	11	2	2		兼20
	専門応用科目	分析化学概論	2・1学期		2			○		1					
		微生物学概論	2・1学期		2			○		1					兼1
		土壌学	2・1学期		2			○		1					
		水産生物化学	2・1学期		2			○		1					
		水産化学	2・2学期		2			○		1					
		基礎統計学	3・1学期		2			○			1				
		地域活性化論	3・1学期		2			○							兼4
		合意形成学	3・1学期	2				○		1					
		海洋管理政策論	3・2学期	2				○		2					オムニバス
		海洋観光論(社会科学系)	3・2学期		2			○							兼1
		水産資源管理学概論(水産海洋系)	3・2学期		2			○							兼1
		水産環境学(水産海洋系)	3・2学期		2			○							兼1
		海域環境マネジメント(沿岸海洋系)	3・2学期		2			○							兼1
		水産社会経済学(社会科学系)	3・2学期		2			○							兼1
		沿岸域産業概論(社会科学系)	3・2学期		2			○							兼1
		科学英語コミュニケーション	3・1学期		1				○					1	
		科学英語Ⅱ	3・2学期	1					○	12	11	2	2		オムニバス
	小計(17科目)		—	5	27	0			—	12	11	2	2		兼11
	専門発展科目	科学コミュニケーション論	4・1学期		2			○		12	11	2	2		オムニバス
卒業論文演習Ⅰ		4・1学期	1				○		12	11	2	2		共同	
卒業論文演習Ⅱ		4・2学期	1				○		12	11	2	2		共同	
卒業論文		4・通年	6					○	12	11	2	2		共同	
小計(4科目)		—	8	2	0			—	12	11	2	2			
海洋生物生産学コース	専門応用科目	水産生物学	2・1学期		2			○			2				兼2
		沿岸環境学	2・1学期		2			○			1				
		魚病学	2・2学期		2			○				1			※コース必修科目
		魚類学各論	2・2学期		2			○							兼1
		環境微生物工学	2・2学期		2			○		1					
		魚類生理学	2・2学期		2			○		1					
		水産増殖学	3・1学期		2			○		1					
		藻類増殖学	3・1学期		2			○							兼1
		水族遺伝・育種学	3・1学期		2			○		1					
魚類防疫学	3・1学期		2			○		1							

海洋生物生産学コース	専門応用科目	水族環境学	3・1学期	2	○			1										※コース必修科目		
		魚類栄養飼料学	3・1学期	2	○			1											※コース必修科目	
		水産物利用学	3・1学期	2	○				1										※コース必修科目	
		水族生理生化学	3・1学期	2	○				1											
		水産物品質管理学	3・1学期	2	○			1												
		バイオインフォマティクス	3・1学期	2	○				1											
		水産食品原料学	3・2学期	2	○			1												
		水産社会学	3・2学期	2	○															兼1
		水産生物学実験	2・1学期	1			○		1											集中
		海洋微生物学実験	2・2学期	1			○		1			1								集中
		水族環境学実験	2・2学期	1			○		1		1									集中
		魚類生理学実験	2・2学期	1			○		2			1								集中
		水産化学実験	2・2学期	1			○		1		1									集中
		水族栄養学実験	3・1学期	1			○		1		1									集中
		分子生物学実験	3・1学期	1			○		2											集中
		海洋観測実習	3・1学期	1			○		1		1									集中
		水産製造学実習	3・1学期	1			○		1		1									集中
	水産増殖学実習	3・通年	1			○		1											集中	
	水族病理学実習	3・通年	1			○		1			1								集中	
	小計 ( 29 科目)		—	0	47	0	—	—	12	11	2	2							兼4	
専門 目 展 科	専門 目 展 科	水産法規学	3・2学期	2	○														兼1 集中	
		水産資源学	3・2学期	2	○			1												
		小計 ( 2 科目)		—	0	4	0	—	1	0	0	0								兼1 —
専門科目	専門 目 展 科	海底資源岩石鉱物学	2・1学期	2	○				1											
		海底地形処理	2・1学期	2	○			1												
		海洋情報化学	2・1学期	2	○			1												
		天然物有機化学 I	2・1学期	2	○						1									
		天然物医薬品化学	2・1学期	2	○			1												兼1
		生物化学	2・1学期	2	○															オムニバス
		天然物有機化学 II	2・2学期	2	○						1	1								
		海洋天然物化学	2・2学期	2	○			1												
		天然高分子化学	2・2学期	2	○						1									
		海底資源学	2・2学期	2	○															兼1
		同位体地球化学	2・2学期	2	○						1									
		水圏地球化学	2・2学期	2	○			1												
		資源物理化学	2・2学期	2	○			1												
		海底資源学特論	2・2学期	2	○															兼1 集中
		資源探査学特論	2・2学期	2	○															兼1 集中
		機器分析学	3・1学期	2	○			1												
		生物有機化学	3・1学期	2	○			1												
	情報化学	3・2学期	1	○						1										
	海洋深層水科学	3・2学期	1	○			1		1										オムニバス	
	海底資源学演習 (地学)	2・1学期	1			○		1		2									共同※コース必修科目	
海底資源学演習 (化学)	2・2学期	1			○		2			1								共同※コース必修科目		
洋上観測実習	3・1学期	1			○		2											共同※コース必修科目		
小計 ( 22 科目)		—	0	39	0	—	—	4	2	1								兼4		
海底資源環境学コース	専門 目 展 科	地球年代学	3・1学期	2	○			1												
		資源分析化学	3・1学期	2	○			1												
		流体力学	3・1学期	2	○			1												
		現場化学計測	3・1学期	2	○					1										
		資源無機化学	3・1学期	2	○						1									
		地球物質循環学	3・1学期	2	○															兼1
		資源物質化学	3・2学期	2	○							1								
		海洋環境アセスメント化学	3・2学期	2	○						1									
		海底資源物性学	3・2学期	2	○															兼1
		海底資源地質学	3・2学期	2	○				1		1									オムニバス
		海洋環境学特論	3・2学期	2	○															兼1 集中
		資源応用学特論	3・2学期	2	○															兼1 集中
		先端科学特論	3・2学期	2	○															兼1 集中
		海底資源科学ゼミナール (化学)	3・1学期	1			○		2			1								共同※コース必修科目
		海底資源科学ゼミナール (地学)	3・2学期	1			○		4		2	1								※コース必修科目
		海底資源分析実験 (化学)	3・1学期	1			○		2			1								共同※コース必修科目
		海底資源分析実験 (地学)	3・1学期	1			○		1		2									共同※コース必修科目
小計 ( 17 科目)		—	0	30	0	—	—	4	2	1								兼5 —		
海洋生命科学コース	専門 目 展 科	海洋生物生理・生態学	1・2学期	2	○			1												
		微生物学入門	2・1学期	2	○				1											
		社会栄養学	2・1学期	2	○				1											
		生物化学	2・1学期	2	○															兼1
		天然物有機化学 I	2・1学期	2	○						1									※コース必修科目
		天然物医薬品化学	2・1学期	2	○				1											※コース必修科目
		海洋進化生態学	2・2学期	2	○						1									
		分子細胞生物学	2・2学期	2	○															兼1
		天然物有機化学 II	2・2学期	2	○							1	1							オムニバス
		天然高分子化学	2・2学期	2	○							1								

専門科目	海洋生命科学コース	専門応用科目	海洋天然物化学	2・2学期	2	○			1					兼1	集中
			海底資源学	2・2学期	2	○			1						
			バイオインフォマティクス	3・1学期	2	○				1					
			藻類増殖学	3・1学期	2	○									
			活性発現機構	3・1学期	2	○			1						
			生物有機化学	3・1学期	2	○			1						
			資源無機化学	3・1学期	2	○									
			機器分析学	3・1学期	2	○			1						
			資源分析化学	3・1学期	2	○			1						
			社会医学特論	3・2学期	2	○			1						
			資源物質化学	3・2学期	2	○									
			海洋深層水科学	3・2学期	1	○			1	1					オムニバス
			情報化学	3・2学期	1	○				1					
			有機構造解析	3・2学期	1	○			1						
			分子合成論	3・2学期	1	○						1			
			初習海洋生命英語	2・1学期	1		○		2	4	0	2			オムニバス等コース必修科目
			海洋生物・生命科学演習	2・2学期	1		○		2	4	0	2			集中※コース必修科目
			海洋天然物化学演習	2・2学期	1		○		2	4	0	2			集中※コース必修科目
			洋書講読Ⅰ	3・1学期	1		○		2	4	0	2			オムニバス
			海洋生命科学ゼミナールⅠ	3・2学期	1		○		2	4	0	2			集中※コース必修科目
			海洋生命科学ゼミナールⅡ	3・2学期	1		○		2	4	0	2			集中※コース必修科目
			微生物学実験	3・1学期	1		○		1		1				集中※コース必修科目
			資源分析学実験Ⅰ	3・1学期	1		○		2		1				集中
			資源分析学実験Ⅱ	3・1学期	1		○		1	2					集中
			有機化学実験Ⅰ	3・1学期	1		○		1	1	1				集中※コース必修科目
			有機化学実験Ⅱ	3・2学期	1		○			2	1				集中※コース必修科目
			分子細胞生物学実験	3・2学期	1		○			2		1			集中※コース必修科目
			潜水実習	2・1学期	1		○		1						集中
			洋上観測実習	3・1学期	1		○		2						集中
			小計 ( 39 科目)	—	0	60	0	—	5	6	1	2		兼3	—
		専門発展科目	海洋生命科学特論Ⅰ	4・1学期	2		○		1						集中
			海洋生命科学特論Ⅲ	4・1学期	2		○		1						集中
			医薬関連法規	4・1学期	2		○		2						
			海洋生命科学特論Ⅱ	4・1学期	2		○		1						集中
			海洋生命科学特論Ⅳ	4・1学期	2		○		1						集中
			洋書講読Ⅱ	4・1学期	1		○		2	4	0	2			集中
			小計 ( 6 科目)	—	0	11	0	—	2	4	0	2			—
			合計 ( 163 科目)	—	24	258		—	12	11	2	2		兼33	—

学位又は称号 学士 (海洋科学) 学位又は学科の分野 農学関係、理学関係

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

1. 社会的要請への対応

高知大学農学部は、高知県を中心とした南四国地域及び黒潮流域圏の豊かな自然と風土のもとで、安全な食料の確保、環境の保全及び生物資源の生産と有効活用を農学の使命と位置付け、平成19年の5学科制から1学科制への移行に伴い、一括入試による入学後の柔軟な分野選択を可能にする教育体制を構築するとともに、農林水産業全体をほぼカバーする8コース(「暖地農学」、「海洋生物生産学」、「食料科学」、「生命化学」、「自然環境学」、「流域環境工学」、「森林科学」、「国際支援学」)を1学科内に設置することで、地域社会と国際社会の発展に貢献できる人材育成に取り組んできた。

しかしながら、一括入試による1学科8コース制のもとでは、化学の基礎的な知識を持たない学生の増加をはじめ修士課程進学率の低迷など、様々な課題が生じてきている。一方、我が国は、日本経済の再生に向け、食料自給率の向上の観点から「攻めの農業」として「農業振興」を成長戦略の一つに位置づけており、同施策に直結する農畜産物の高付加価値化や新品種・新技術の開発・普及、食品のブランド化等にあたっては、農業従事者だけでなく、大学等の高等教育機関における研究開発や人材育成、産学官の連携が必要不可欠である。また、平成25年に策定された海洋基本計画では、「海洋産業の振興と創出に関わる人材の育成」、「海洋教育に関わる人材の育成」が重点的な取組として位置づけられており、地域の特性を最大限活かした人材育成の推進が必要とされている。

本学が所在する高知県においては、「第2期産業振興計画」において、本県の強みである第一次産業における「農産物の高収量化と高品質化」や、「素材を生かした加工立県」を目指すこととしている。県内では馬路村の「ゆず」をはじめとする主力農産物を加工した製品の全国販売が注目を集めるなど、農芸化学と密接に関連した産業振興やその人材ニーズが高まりを見せており、産学官連携による技術革新や機能性成分を生かした商品開発などに対して大きな期待が寄せられている。

また、第2期産業振興計画においては、漁業生産量の確保、養殖業、水産加工の振興といった水産業の振興政策や海洋深層水の利用拡大の推進、海洋深層水の新たな分野への展開と地元産業の事業化支援、高付加価値商品等への利用検討といった産業振興を重要な柱としており、近年では、土佐沖が最大の推定埋蔵域とされるメタンハイドレートをはじめ、大陸棚や深海底の生物・鉱物など豊富な未利用海洋資源の有効活用に関する社会からの期待も大きい。

このような社会の要請に応えるためには、現行の1学科8コース制のもとでは課題解決が困難であることから、このたび、これまでの農学部の実績や全国共同利用・共同研究拠点である「高知大学海洋コア総合研究センター」の研究資源等を有効に活用しつつ、「農学科」を「農林資源環境科学科」、「農芸化学科」、「海洋資源科学科」の3学科へと移行する。

2. 養成する人材像

○農林海洋科学部

幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成する。

○海洋資源科学科

海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身に付けさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、海洋生命科学に関する専門知識を修得させることを目的とする。そして、海洋資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し実際に行動し解決できる能力を有するとともに、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命化学に関する専門的な知識を併せもった海洋資源管理に長けた実戦力のある海洋専門人材を育成する。

### ① 海洋生物生産学コース

生物学、化学、地学、物理学、及び水産学の基礎を身につけさせた上で、「海洋資源」を水産学的な視点から思考することのできる幅広い教養と、データマイニング、ビッグデータなど取り扱いに関わる統計処理技術、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力、科学技術の社会還元不可欠な合意形成に関する技能を修得させ、広い視点で事象を的確に捉え科学的に思考する方法を身に付けさせる。それに加え、海洋資源の管理に関する広い知識、海洋法規など人文社会的視点にも習熟し、多面的・複合的に理解するために必要な専門知識と実践技術を総合的に修得させることを目的として教育を行う。そして、海洋資源に関わる広い基礎知識と深い専門知識を身に付け、海洋資源分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる能力を備えながら、地域社会及び国際社会の健全な振興に貢献できる技術者・研究者を育成する。

### ② 海底資源環境学コース

地学、化学、物理学、生物学及び水産学の基礎を身につけさせた上で、「海底資源」を地球科学的な視点から思考することのできる幅広い教養と、統計処理技術、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力、科学技術の社会還元不可欠な合意形成に関する技能を修得させ、広い視点で事象を的確に捉え科学的に思考する方法を身に付けさせる。それに加え、海洋資源の管理に関する広い知識、海洋法規など人文社会的視点にも習熟し、多面的・複合的に理解するために必要な専門知識と実践技術を総合的に修得させることを目的として教育を行う。そして、海洋資源に関わる広い基礎知識と深い専門知識を身に付け、海洋資源とくに海底資源分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる能力を備えながら、地域社会及び国際社会の健全な振興に貢献できる技術者・研究者を育成する。

### ③ 海洋生命科学コース

化学、生物学、地学、物理学、及び水産学の基礎を身につけさせた上で、「海洋資源」を生命科学的な視点から思考することのできる幅広い教養と、データマイニング、ビッグデータなど取り扱いに関わる統計処理技術、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力、科学技術の社会還元不可欠な合意形成に関する技能を修得させ、広い視点で事象を的確に捉え科学的に思考する方法を身に付けさせる。それに加え、海洋資源の管理に関する広い知識、海洋法規など人文社会的視点にも習熟し、多面的・複合的に理解するために必要な専門知識と実践技術を総合的に修得させることを目的として教育を行う。そして、海洋資源に関わる広い基礎知識と深い専門知識を身に付け、海洋資源分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる能力を備えながら、地域社会及び国際社会の健全な振興に貢献できる技術者・研究者を育成する。

こうした人材の育成には、学部・学科ごとのディプロマポリシー（学位授与の方針）が不可欠である。

#### 【ディプロマポリシー】

##### ○農林海洋科学部

【知識・理解】幅広い教養と農学、海洋科学のそれぞれの分野における専門的知識と実践的技術を統合的に身につけ、的確な理解力を有している。  
【思考・判断】農学、海洋科学のそれぞれの分野における専門的知識・実践的技術と幅広い教養を統合させ、適切に活用する思考方法を身につけ、妥当な判断ができる。

【関心・意欲】農学、海洋科学のそれぞれの分野に対して常に関心を持ち、的確な判断に基づいて問題を解明しようとする意欲を有している。

【態度】地域社会及び国際社会の健全な発展に寄与しようとする態度を有し、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

【技能・表現】農学、海洋科学のそれぞれの分野に固有の研究手法の基礎を身につけている。自分の意見や考えを的確に表現でき、異分野を含む様々な人とそれぞれの分野に関連した意見交換ができる汎用的能力を身につけている。

##### ○海洋資源科学科

【知識・理解】「海洋資源」の問題について、多面的な視点から理解することができる知識と技術を有している。海洋資源の管理に関する知識、海洋法規など人文社会的な観点を有している。海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけている。

【思考・判断】海洋資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる知識と技術を有している。

【関心・意欲】「海洋資源」及び「海洋資源管理」に関する理解と利用について強い関心と意欲を持っている。

【態度】地域社会及び国際社会のなかでの技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

【技能・表現】日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。「海洋資源」に関して生物学、化学、地学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

### ① 海洋生物生産学コース

【知識・理解】「海洋生物資源」の問題について、特に生物学、化学及び水産学的な視点から理解することができる知識と技術を有している。「海洋生物資源の管理」に関する知識について、海洋法規など人文社会的な視点と自然科学的な視点の両面から総合的に知識を有している。海洋生物資源の管理に不可欠な知識や手法を身につけている。

【思考・判断】海洋生物資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる知識と技術を有している。

【関心・意欲】「海洋生物資源」及び「海洋生物資源の管理」に関する理解と利用について強い関心と意欲を持っている。

【態度】地域社会及び国際社会のなかでの技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

【技能・表現】日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。「海洋生物資源」に関して特に地学、化学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

### ② 海底資源環境学コース

【知識・理解】「海底資源」とそれをとりまく海洋環境の問題について、特に地学、化学及び物理学的な視点から理解することができる知識と技術を有している。「海底資源の管理」に関する知識について、海洋法規など人文社会的な観点を自然科学的な視点の両面から総合的に知識を有している。

「海底資源の管理」に不可欠な知識や手法を身につけている。

【思考・判断】「海底資源」の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる柔軟な知識と技術を有している。

【関心・意欲】「海底資源」の探査や開発及び「海底資源」の管理に関する理解、利用、保全について強い関心と意欲を持っている。

【態度】地域社会及び国際社会のなかで、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

【技能・表現】日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。地域社会や国際社会など異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。「海底資源」に関して特に地学、化学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

### ③ 海洋生命科学コース

【知識・理解】「海洋生物」とその産生する代謝産物に関して、特に化学、生物及び物理学的な視点から理解することができる知識と技術を有している。「海洋生物」と「化学物質」に関する知識について、海洋法規など人文社会的な視点と自然科学的な視点の両面から総合的に知識を有している。「海洋生物と化学物質の管理」に不可欠な知識や手法を身につけている。

【思考・判断】「海洋生物と化学物質」の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析しながら、実際に行動し解決できる柔軟な知識と技術を有している。

【関心・意欲】「海洋生物」の生命現象と有用化学資源の探索や開発及び「有用化学物質」の生産管理について強い関心と意欲を持っている。

【態度】地域社会及び国際社会のなかで、技術者や研究者の責任と役割を自覚している。

【技能・表現】日本語による表現力、英語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション及びディベート能力を修得している。地域社会や国際社会など異なる意見にも配慮した問題解決策の能力として、合意形成に関する知識を活用できる技術を有している。得られたデータを効率的に集約し解析するための数理モデル解析、データマイニング、ビッグデータの取り扱いに関する技術を修得している。「海洋生命科学」に関して特に化学、生物学、物理学の分野から多面的にみることができ、それらを題材とし実験・実習・課題研究等を通して、問題発見、計画の立案、成果の提示の能力を修得している。

## II. 教育課程編成の考え方・特色

### ○農林海洋科学部

#### (1) 全学共通教育科目（初年次科目、教養科目）

初年次科目の「大学基礎論」、「学問基礎論」（全学必修、各学部教員が担当）において、農学・海洋科学の理念、ならびに基本となる知識や学び方を、グループワークの手法を多く取り入れながら修得させる。また、「課題探求実践セミナー」（全学必修、各学部教員が担当）では、学術的あるいは地域での課題をフィールドワークを行いながら自ら探索し、その解決に自律的に取り組む課題探究力と協働実践力を身につけさせる。さらに「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」（いずれも全学必修）では、農学・海洋科学を学ぶために必須となる情報収集・活用能力や国際コミュニケーション能力を育成する。その他、「里山・里川の環境科学」、「土佐の自然と農業」、「フードサイエンスの世界」、「ライフサイエンスの世界」、「生態系への人為的インパクト」、「魚と食と健康」など、多くの教養科目（選択科目）を提供して、農学・海洋科学に関係する幅広い教養を涵養し、教養と専門知識を統合して外部に働きかける能力の基盤を育成する。

#### (2) 学部共通の必修科目「フィールドサイエンス実習」の拡充

ミッションの再定義において、現農学部は、これまでに培われてきた実績を活かしながら、今後、海洋教育を更に充実させ、農林水産学・海洋資源科学関連分野において、地域社会・国際社会で現場主義に立って活躍できる人材を育成することを宣言した。この現場主義の考え方を具現化すべく、現農学部では、山・森林から海に至る実地教育に適したフィールドが近距離に揃う高知県のメリットを活かし、構成全領域の実習を「フィールドサイエンス実習」として必修履修させてきたが、農林海洋科学部では、従来の「山から海」までの5分野（「農場」、「森林」、「河川」、「応用/生物科学」、「海洋」：各分野6時間）に加えて、さらに広く6分野目としての「海底」までを包含した生命圏全体を扱う実習コンテンツへと拡充する。あわせて、各分野の授業時間数を6時間から10時間に拡充し、総授業時間数を従来の30時間（1年次1学期開講科目、1単位）から60時間（1年次通年科目、2単位）を増やすことで、1年を通しての生物暦・作業暦に対応した実習コンテンツへと拡充する。新学部の理念を学ばせる「大学基礎論」、「学問基礎論」や、各学科の提供する「農林学概論」、「農芸化学概論」、「海洋科学概論」などの座学から得られる知識と、「フィールドサイエンス実習」で体験的・実践的に獲得させる知識・技術とを往還させて農学・海洋科学を学ぶことの意義を学生に理解させるとともに、この領域について深く学ぼうとする意欲を育む。

#### (3) 体系的な学びを提供するための科目区分と社会科学系科目の配置

学部共通の必修科目の他、学科ごとに「学科共通科目」を設定して、専門科目を学ぶための基本的素養を身につけさせる。専門科目は、各学科あるいはカリキュラムコースのカリキュラムマップの構成にあわせて、学科の入門的・基軸的科目である「専門基盤科目」、基幹科目である「専門応用科目」、より先端性を備えた細目科目である「専門発展科目」に区分し、これら科目にナンバリングを行って体系的に配置することにより、学生が当該学科で身に付けるべき専門知識を順序よく段階的に修得しやすい構成とする。

また、本学部では、自然科学だけでなく社会科学の専門能力も統合的に身につけることを学部の養成する人材像として掲げていることから、社会科学系の科目として、共通教育科目や各学科独自の専門科目（「農業経営学」、「フードビジネス概論」、「海洋管理政策論」など）のほか、学部共通の専門科目として、農山漁村振興や地域活性化に関する知識を得る「農山漁村論入門」、「地域活性化論」を置く。

#### (4) 学部横断型教育プログラム

地域社会、国際社会が有する様々な課題に対し、総合的な教養と専門知識・技術、俯瞰力を持って主体的に取り組める能力をさらに深化させた人材を育成するために、農林海洋科学部では、各学科における専門知識の涵養に加え、それとは異なる視点から、あるいは、より実践的視点から学ばせるための学部横断型教育プログラム（国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラム）を配置する。この教育プログラムは、学生の希望により、所属学科のカリキュラムに加えて副専攻的に履修させ、指定の単位数を修得した者に修了証書を授与する。

### ○海洋資源科学科

海洋資源科学科では、海洋資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し実際に行動し解決できる能力を有するとともに、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった海洋資源管理に長けた実践力のある海洋専門人材を育成することとしているため、海洋管理に関する科目として、「海洋科学概論」「海洋基礎生態学」「合意形成学」「海洋管理政策論」など、選択必修を含め合計24単位を必修化する。

#### 【教育課程の考え方】

##### <共通教育科目>

##### 初年次科目（1年次 必修科目12単位）

「大学基礎論」、「学問基礎論」、「課題探求実践セミナー」、「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」の6科目を履修させ、「大学基礎論」、「学問基礎論」では、農学・海洋科学の理念と意義、基本となる知識や学びの方法を修得させる。「課題探求実践セミナー」では、課題を自ら探索し、その解決に自律的に取り組む課題探究力と協働実践力を身につけさせる。「情報処理」、「大学英語入門」、「英会話」では、海洋科学を学ぶために必須となる情報収集・活用能力や国際コミュニケーション能力を育成する。

##### 教養科目（28単位）

「里山・里川の環境科学」、「土佐の自然と農業」、「フードサイエンスの世界」、「ライフサイエンスの世界」、「生態系への人為的インパクト」、「魚と食と健康」及び他学部教員が担当する多様な教養科目から選択履修させ、教養と専門知識を統合して外部に働きかける能力の基盤を育成する。

##### <学科共通専門科目>

学科共通の専門必修科目24単位を修得するとともに、科目名の後に学系を示したものについては、4学系すべてから1科目2単位以上計12単位以上の選択必修とする。

##### 専門基盤科目（学科共通科目：1年次から2年次に履修）

1年次に「海洋科学概論」「海洋地球科学概論」、2年次に「海洋基礎生態学」「水産学概論」「科学英語Ⅰ」を必修科目として配置し、海洋管理に関連した基礎知識と基本的技能を身につけさせる。また、選択科目として物理学、化学、生物学、地学の基礎実験科目のほか、「4学系すべてから1科目2単位以上計12単位以上の履修を必要とする海洋管理に関する選択科目」のうち、海洋一般系（「海洋生物学概論」「海洋ケミカルバイオロジー」など）、沿岸海洋系（「沿岸域防災学」「沿岸生産環境学」など）、水産海洋系（「魚類学概論」）の3学系の科目を配置する。

なお、選択科目のうち、海洋生物生産学コースでは「魚類学概論」を、海底資源環境学コースでは「化学概論」「地球科学概論」「海洋物理学概論」「化学基礎実験」「地学基礎実験」を、海洋生命科学コースでは「海洋生物学概論」「海洋ケミカルバイオロジー」を必修とする。

##### 専門応用科目（学科共通科目：2年次から3年次に履修）

3年次に「合意形成学」「海洋管理政策論」「科学英語Ⅱ」を必修科目として配置し、海洋管理に関連した専門知識を身につけさせる。また、選択科目として「分析化学概論」「微生物学概論」「土壌学」「基礎統計学」「科学英語コミュニケーション」などの科目のほか、「4学系すべてから1科目2単位以上計12単位以上の履修を必要とする海洋管理に関する選択科目」のうち、沿岸海洋系（「海域環境マネジメント」）、水産海洋系（「水産資源管理学概論」）、社会科学系（「海洋観光論」、「水産社会経済学」など）の3学系の科目を配置する。これらの科目により、学生に専門基盤科目から一歩進んだより専門的な知識と実践的技術及び知識を積極的に求め主体的に自ら問題解決にあたらうとする意欲を涵養する。

なお、選択科目のうち、海洋生物生産学コースでは「水産化学」を、海底資源環境学コース及び海洋生命科学コースでは「科学英語コミュニケーション」を必修とする。

##### 専門発展科目（学科共通科目：4年次に履修）

4年次に「科学コミュニケーション論」「卒業論文演習Ⅰ」「卒業論文演習Ⅱ」「卒業論文」を配置する。「科学コミュニケーション論」では様々な人と海洋資源科学分野に関連した意見交換ができるコミュニケーション能力を、また、卒業論文関連科目により、問題発見、計画立案、データ収集・整理、成果の提示、異なる意見にも配慮した解決策の提案等の能力を身につけさせ、プレゼンテーション・ディベート能力を身につけさせる。また、科学者・技術者の責任と役割を自覚し、海洋資源科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献できる能力を養う。



＜コース専門科目＞

①海洋生物生産学コース

海洋生物生産学コースでは、1～2年次は、海洋に関連した生物学、化学、地学、物理学について、広範囲に修得できる環境を整える。そのような環境で基礎的な知識を身に付けた後、2年次から並行して海洋生物生産学コースにおける独自の専門知識を修得させる段階的な教育を行う。

低学年次に学科共通科目により海洋管理学に関する基礎的な知識を習得させ、その土台を形成した後に、海洋生物の生態や病理及び生物環境に関して、主に生物学的視点から多面的に理解・考察させる科目（コース必修科目「魚病学」「水族環境学」及び「魚類学各論」等の選択科目）や海洋生物の健康や利用に関する科目を含み、海洋生物生産に関して主に科学的視点から多面的に理解・考察させる科目（コース必修科目「魚類栄養飼科学」「水産物利用学」及び「水族生理生化学」等の選択科目）からなる、より応用的・発展的な科目を修得することで、生物学、化学を基盤とする、海洋生物生産に関係する幅広い知識と技術、海洋生物生産への応用についての思考力を涵養する。

②海底資源環境学コース

海底資源環境学コースでは、1～2年次は、海洋に関連した生物学、化学、地学、物理学について、広範囲に修得できる環境を整える。そのような環境で基礎的な知識を身に付けた後、2年次から並行して海底資源環境学コースにおける独自の専門知識を修得させる段階的な教育を行う。

低学年次に学科共通科目により海洋管理学に関する基礎的な知識を習得させ、その土台を形成した後に、海底資源の形成メカニズムや利用、リサイクルに関する知識を修得させ海底資源に関して主に地学・化学的視点から多面的に理解・考察させる科目（「海底資源学」「資源分析化学」「資源物質化学」等の選択科目）や海底資源の形成環境や環境汚染に関する知識を修得させ海底資源をとりまく海洋環境に関して主に地球科学的視点から多面的に理解・考察させる科目（「水圏地球化学」「地球物質循環学」「海洋環境アセスメント化学」等の選択科目）からなる、より応用的・発展的な科目を修得することで、海洋鉱物資源の成因、鉱物資源利用時の環境影響、鉱物資源の化学的応用に関する幅広い知識を習得し、地学的及び化学的知識と手法に基づいて思考する力を涵養する。

③海洋生命科学コース

海洋生命科学コースでは、1～2年次は、海洋に関連した生物学、化学、地学、物理学について、広範囲に修得できる環境を整える。そのような環境で基礎的な知識を身に付けた後、2年次から並行してコースにおける独自の専門知識を修得させる段階的な教育を行う。

低学年次に学科共通科目により海洋管理学に関する基礎的な知識を習得させ、その土台を形成した後に、生物学や生命科学の科目を含み、生物資源としての海洋生物および海洋生物由来代謝産物の活性といった知識を多面的に理解・考察させる科目（コース必修科目「生物化学」及び「海洋生物生理・生態学」等の選択科目）や有機化学や分析化学に関する科目を含み、海洋生物由来代謝産物に関して主に化学的視点から多面的に理解・考察させる科目（コース必修科目「天然物有機化学Ⅰ」及び「海洋天然物化学」等の選択科目）からなる、より応用的・発展的な科目を修得することで、海洋生物の生態、物質化学、ライフサイエンスに関係する幅広い知識を習得し、化学的及び生物学的知識と手法に基づいて思考する力を涵養する。

【特色】実践力を重視する科目体系とコミュニケーション力の養成

講義によって修得した知識を実験や実習の体験を通して、より深い学びとして連結させるため、海洋生物生産学コースでは、実験科目7科目（「水産生物学実験」「海洋微生物学実験」「水族環境学実験」「魚類生理学実験」「水産化学実験」「水族栄養学実験」「分子生物学実験」）、実習科目4科目（「海洋観測実習」「水産製造学実習」「水産増殖学実習」「水族病理学実習」）を配置し、実験科目のうち6科目以上を、実習科目のうち3科目以上を選択必修科目とすることで、実践力を重視した科目体系とする。また、「バイオインフォマティクス」を配置することによりデータマイニング、ビッグデータの取り扱い技術の修得を目指す。

海底資源環境学コースでは、「海底資源分析実験」（化学）（地学）や「洋上観測実習」を取り入れる。

海洋生命科学コースでは、実験・実習科目7科目、演習科目7科目を配置し、「有機化学実験Ⅰ」、「有機化学実験Ⅱ」、「微生物学実験」、「分子細胞生物学実験」、ならびに「初習海洋生命英語」、「海洋生物・生命科学演習」、「海洋天然物化学演習」、「海洋生命科学ゼミナールⅠ」、「海洋生命科学ゼミナールⅡ」を必修とし、実践力を重視した科目体系とする。また、「バイオインフォマティクス」を配置することによりデータマイニング、ビッグデータの取り扱い技術の修得を目指す。

このほか、全てのコースにおいて、「科学コミュニケーション論」を配置することにより、海洋資源科学及び海洋管理学分野に関連した意見交換ができる素養を身に付けさせる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【卒業要件】 共通教育科目40単位（うち初年次科目12単位は必修）、学科共通の専門必修科目24単位、専門選択科目（選択必修を含む）60単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 なお、科目名の後に学系を示した科目については4学系それぞれから1科目以上を履修し、計12単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】 共通教育科目（40単位） ○初年次科目 12単位 「大学基礎論」「学問基礎論」 「課題探求実践セミナー」「大学英語入門」 「英会話」「情報処理」の6科目（各2単位）が必修 ○教養科目 28単位</p> <p>専門科目（84単位） ○学科共通科目 ・専門基盤科目 6科目（11単位）が学科共通の必修 「海洋科学概論」「海洋地球科学概論」「海洋基礎生態学」 「水産学概論」「科学英語Ⅰ」「フィールドサイエンス実習」 そのほか、コースごとに次の科目が必修 海洋生物生産学コース 「魚類学概論」が必修 海底資源環境学コース 「化学概論」「地球科学概論」 「海洋物理学概論」「化学基礎実験」 「地学基礎実験」が必修 海洋生命科学コース 「海洋生物学概論」 「海洋ケミカルバイオロジー」が必修</p>	1 学年の学期区分	2 学期
<p>・専門応用科目 3科目（5単位）が学科共通の必修 「合意形成学」「海洋管理政策論」「科学英語Ⅱ」 そのほか、コースごとに次の科目が必修 海洋生物生産学コース 「水産化学」が必修 海底資源環境学コース 「科学英語コミュニケーション」が必修 海洋生命科学コース 「科学英語コミュニケーション」が必修</p>	1 学期の授業期間	15 週

<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門発展科目 3科目（8単位）が学科共通の必修 「卒業論文」「卒業論文演習Ⅰ」「卒業論文演習Ⅱ」</li> <li>○コース選択科目 コースごとに次の科目が必修</li> <li>・海洋生物生産学コース 専門応用科目 「魚病学」「水族環境学」 「魚類栄養飼料科学」「水産物利用学」が必修</li> <li>・海底資源環境学コース 専門応用科目 「海底資源学演習（地学）」 「海底資源学演習（化学）」 「洋上観測実習」が必修</li> <li>専門発展科目 「海底資源科学ゼミナール（地学）」 「海底資源科学ゼミナール（化学）」 「海底資源分析実験（地学）」 「海底資源分析実験（化学）」が必修</li> <li>・海洋生命科学コース 専門応用科目 「生物化学」「天然物有機化学Ⅰ」 「初習海洋生命英語」 「海洋生物・生命科学演習」 「海洋天然物化学演習」 「海洋生命科学ゼミナールⅠ」 「海洋生命科学ゼミナールⅡ」 「微生物学実験」 「有機化学実験Ⅰ」「有機化学実験Ⅱ」 「分子細胞生物学実験」が必修</li> </ul> <p style="text-align: center;">要総修得単位数124単位 (履修科目の登録の上限：各学期22単位)</p>	1 時限の授業時間	90分
--	-----------	-----

教 育 課 程 等 の 概 要

(農林海洋科学部 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	大学基礎論	1・1学期	2			○			4	5					兼3	共同
	学問基礎論	1・2学期	2			○			4	5	3				兼4	共同
	課題探求実践セミナー	2・1学期	2				○		2	3	1				兼9	共同
	大学英語入門	1・1学期	2				○									
	英会話	1・2学期	2				○									
	情報処理	1・1学期	2				○		3	5						
	小計(6科目)	—	—	12	0	0	—	—	13	18	4	0	0		兼16	
共通教育科目 教養科目 人文分野	食の哲学	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	哲学を学ぶ	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	哲学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	哲学	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	神話と儀礼	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	世界史の中の宗教	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	文化人類学入門	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	生物多様性から考える食と農の未来	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	リラクセーションの哲学	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	リラクセーションの哲学	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	心理学を学ぶ	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	心理学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	対人コミュニケーション論を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	Psychology for beginners	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	地理学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	地理学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	歴史を考える	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	歴史を考える	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	歴史を考える	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	江戸時代の産業と地域社会	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	映像を通して考える中国近現代の地域社会	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	風景と空間の科学	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	土佐の自由民権運動	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	イネと青銅と鉄の伝来	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	空想の博物学	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
	文学を考える(芥川龍之介の作品を読む)	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
	文学を考える(芥川龍之介の作品を読む)	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
源氏物語の恋愛と結婚	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	集中	
小さな地名の調べかた	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1		
小さな地名の調べかた	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1		
外国文学	1・2・3・4・1学期	2			○									兼5	オムニバス	
日本語方言の探究	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1		
教養の漢字学	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1		
文学と社会	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1		
彫刻入門	1・2・3・4・1学期	2				○								兼1		
合唱初級	1・2・3・4・2学期	2				○								兼1		
オペラ入門	1・2・3・4・1学期	2				○								兼1		
吹奏楽を楽しもう	1・2・3・4・2学期	2				○								兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

(農林海洋科学部 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	人文分野	美術を学ぶ		2		○									兼1	
		書道入門	1・2・3・4・1学期	2				○							兼1	
		木彫入門	1・2・3・4・1学期	2				○							兼1	
		近代美術への接近	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
		文化財保存科学概論	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
		近現代哲学	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
		四国の歴史と文化	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	メディア
		阿波学	1・2・3・4・通年	2			○								兼1	メディア
		「モラエスの徳島」～グローバリズムと異邦人～	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	メディア
		日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	メディア
	小計 (48科目)	—	0	96	0	—			0	0	0	0	0	0	兼52	
	社会分野	国際関係を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		政治を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		政治を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		社会学を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		社会学を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		法を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		企業経営を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		企業経営を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		男女共同参画社会を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼7	オムニバス 集中
		企業と労働を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		お金と経済	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		子どもの発達と生活	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		食生活論入門	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		市民社会論入門	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		社会調査データの分析	1・2・3・4・2学期		2		○								兼3	オムニバス
		森との共生を探る	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		市民生活と法	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		平和と軍縮	1・2・3・4・1学期		2		○								兼4	オムニバス
		日本の刑事司法を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		メディア社会論	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		英語レクチャー(Global Issue)	1・2・3・4・2学期		2		○								兼3	オムニバス
		環境社会論入門	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		消費者問題と法	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		障害者支援入門	1・2・1学期		2		○								兼1	
		障害者支援の理論と実践	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		現代日本の社会と政治	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

(農林海洋科学部 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
共通 教育 科目	教養 科目 社会 分野	経済史入門-比較鉄道史研究から見た工業化類型論-	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1		
		福島原発事故を考える	1・2・3・4・1学期		2		○									兼9	オムニバス	
		大学政策論入門	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1		
		非営利法人経営論入門	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
		社会起業論	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1		
		まちづくり論	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1		
		スポーツ文化論	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
		食と農の経済学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
		社会的経営論	1・2・3・4・2学期		2		○									兼2	オムニバス	
		川と人の生活誌	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
		地域活性化について学ぶ	1・2・3・4・1学期		2		○									兼5	オムニバス	
		高知の中小企業を知る	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
		高知県の産業と観光	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	集中	
		サービスラーニング演習	1・2・3・4・通年		2				○							兼4	オムニバス 集中	
		中山間地域の生活と環境Ⅰ	1・2・3・4・通年		2				○							兼2	オムニバス 集中	
		中山間地域の生活と環境Ⅱ	1・2・3・4・通年		2				○							兼2	オムニバス 集中	
		地域協働企画立案	1・2・3・4・通年		2				○							兼2	オムニバス 集中	
		地域協働実習Ⅰ	2・3・4・通年		2				○							兼2	オムニバス 集中	
		地域協働自己分析	2・3・4・通年		2				○							兼2	オムニバス 集中	
		社会協働実践	1・2・3・4・通年		2				○							兼1	集中	
		協働実践自己分析	1・2・3・4・通年		2				○							兼2	オムニバス 集中	
		ソーシャルキャピタル論入門	1・2・3・4・通年		2			○								兼1	集中	
		地域の中で武道を育てる	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	集中	
		四国の地域振興	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
		情報社会論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	メディア	
		地方政府論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	メディア	
		地域コンテンツと知財管理	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
		香川を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
		地域未来創成入門	1通年		1			○								兼3	集中	
		カルチャーシェアリング	1通年		1			○								兼3	集中	
		ベーシック国内サービスラーニング	1・1学期		4					○						兼3	集中	
		ベーシック海外サービスラーニング	1・2学期		4					○						兼3	集中	
		アドバンスト国内サービスラーニング	2・1学期		4					○						兼3	集中	
		アドバンスト海外サービスラーニング	2・2学期		4					○						兼3	集中	
		小計 (68科目)		—	0	142	0		—		0	0	0	0	0	0	兼98	
		生命・ 医療 分野	スポーツ 科学 実技	スポーツ科学講義A	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
スポーツ科学講義B	1・2・3・4・2学期				2		○								兼2	オムニバス		
スポーツ科学講義C	1・2・3・4・2学期				2		○								兼1			
スポーツ科学講義D	1・2・3・4・1学期				2		○								兼1			
スポーツ科学実技 (バドミントン)	1・2・3・4・1学期				1				○						兼2			
スポーツ科学実技 (バドミントン)	1・2・3・4・2学期				1				○						兼2			
スポーツ科学実技 (硬式テニス)	1・2・3・4・1学期				1				○						兼1			
スポーツ科学実技 (硬式テニス)	1・2・3・4・2学期				1				○						兼1			
スポーツ科学実技 (ゴルフ)	1・2・3・4・1学期				1				○						兼1			
スポーツ科学実技 (ゴルフ)	1・2・3・4・2学期				1				○						兼1			

教 育 課 程 等 の 概 要

(農林海洋科学部 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	生命・医療分野	スポーツ科学実技 (卓球)		1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (卓球)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (ネット型ゲーム)	1・2・3・4・1学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (フィットネス)	1・2・3・4・1学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (ボウリング)	1・2・3・4・1学期	1				○								兼1	集中
		スポーツ科学実技 (一から学べる筋力トレーニング)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (エアロビクス)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (剣道)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (バスケットボール)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (ディスクゲーム)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (ジョギング入門)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	
		スポーツ科学実技 (スキーⅠ)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	集中
		スポーツ科学実技 (スキーⅡ)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	集中
		スポーツ科学実技 (スノーボードⅠ)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	集中
		スポーツ科学実技 (スノーボードⅡ)	1・2・3・4・2学期	1				○								兼1	集中
		健康A	1・2・3・4・1学期	2				○								兼5	オムニバス
		健康B	1・2・3・4・1学期	2				○								兼5	オムニバス
	健康C	1・2・3・4・1学期	2				○								兼6	オムニバス	
	健康D	1・2・3・4・1学期	2				○								兼6	オムニバス	
	アルコール学概論	1・2・3・4・1学期	2				○								兼3	オムニバス	
	知の探訪	1・2・3・4・2学期	2				○								兼1	メディア	
		小計 (31科目)	—	0	41	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼54	
	自然分野	数理の世界	1・2・3・4・1学期		2			○								兼3	オムニバス
		数理の世界	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
		数理の世界	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
		法化学概論	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
		自然の法則	1・2・3・4・1学期		2			○								兼7	オムニバス
		フードサイエンスの世界	1・2・3・4・1学期		2			○			7	5				兼3	オムニバス
		ライフサイエンスの世界	1・2・3・4・2学期		2			○			9	5				兼1	オムニバス
		物質の科学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼14	オムニバス
		地球と宇宙	1・2・3・4・2学期		2			○								兼2	オムニバス
地球と宇宙		1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
自然科学の歴史		1・2・3・4・2学期		2			○								兼4	オムニバス	
生物の多様性と生存戦略		1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
土佐の自然と農業		1・2・3・4・1学期		2			○			5	6	3			兼1	オムニバス	
環境化学物質をどう考えるか		1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
渚の自然史	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
色彩の世界	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
環境を考える	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
黒潮圏科学の魅力	1・2・3・4・1学期		2			○								兼14	オムニバス		
動物の進化	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
心の仕組みと脳発達障害	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
初学者の為の物理入門	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
里山・里川の環境科学	1・2・3・4・1学期		2			○			3	3					オムニバス		
大地の災害	1・2・3・4・1学期		2			○								兼2	オムニバス		

教 育 課 程 等 の 概 要

(農林海洋科学部 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通 教育 科目	自然 分野	地震の災害	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
		流れと波の災害	1・2・3・4・2学期		2		○			1						兼2	オムニバス
		災害と生きる	1・2・3・4・2学期		2		○			1						兼8	オムニバス
		魚と食と健康	1・2・3・4・2学期		2		○			5	4	1					オムニバス
		数の概念入門	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
		海洋生物学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼4	オムニバス
		自然環境と人間	1・2・3・4・2学期		2		○			6	7					兼2	オムニバス
		生態系への人為的インパクト	1・2・3・4・2学期		2		○									兼2	オムニバス
		森林と地球環境	1・2・3・4・2学期		2		○			4	5	2				兼2	オムニバス
		生物時計のはなし	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
		体験する数学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
		みのまわりの科学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
		高知の自然と地質資源	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
		高知の農業と自然を実践して学ぶ	1・2・3・4・1学期		2				○		4	3	2				オムニバス 集中
		土佐の海の環境学Ⅰ：柏島海から考える	1・2・3・4・通年		2				○							兼1	集中
	木の旅を辿る	1・2・3・4・1学期		2				○		3	3	2				オムニバス 集中	
	コンピュータと教育	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	メディア	
	四国の自然環境と防災	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
	情報のいろは	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
	サイエンスリテラシーの化学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
		小計 (43科目)	—	0	86	0	—	—	—	48	41	10	0	0		兼94	
外国 語 分野	教養英会話	2・3・4・1学期		2			○								兼3		
	教養英会話	2・3・4・2学期		2			○								兼4		
	TOEIC英語	1・2・3・4・1学期		2			○								兼2		
	TOEIC英語	1・2・3・4・2学期		2			○								兼3		
	国際英語	1・2・3・4・1学期		2			○								兼2		
	リーディング・スキル	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
	リーディング・スキル	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
	ドイツ語I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼9		
	ドイツ語I	1・2・3・4・2学期		2			○								兼4		
	ドイツ語II	1・2・3・4・2学期		2			○								兼4		
	フランス語I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼2		
	フランス語II	1・2・3・4・2学期		2			○								兼2		
	中国語I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼9		
	中国語I	1・2・3・4・2学期		2			○								兼6		
	中国語II	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
	中国語II	1・2・3・4・2学期		2			○								兼5		
	韓国語 (朝鮮語) I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
韓国語 (朝鮮語) I	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1			
韓国語 (朝鮮語) II	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1			
スペイン語I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1			
スペイン語II	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1			
	小計 (21科目)	—	0	42	0	—	—	—	0	0	0	0	0		兼63		

教 育 課 程 等 の 概 要

(農林海洋科学部 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	教養科目 キャリア形成支援分野	CBI実習I	2・1学期		2				○							兼1	集中
		CBI実習II	2・1学期		2				○							兼1	集中
		CBI実習III	2・1学期		2				○							兼1	集中
		CBI実習IV	2・1学期		2				○							兼1	集中
		CBIキャリア開発講座A	2・1学期		2		○									兼1	集中
		CBIキャリア開発講座B	2・1学期		2		○									兼1	集中
		CBI自己分析	2・1学期		2			○								兼1	集中
		CBI企画立案	1・2学期		2			○								兼4	オムニバス 集中
		キャリアパス演習-ライティング養成講座-	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
		キャリアパス演習-プライベートデザイン講座-	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
		進路決定支援演習-自分プレゼンテーション法-	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	集中
		チームワークを考える	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
		地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
		介護等体験(事前指導、事後指導を含む)	2・3・4・通年		2					○						兼1	集中
		博物館学内実習	3・4・通年		2					○						兼1	集中
		博物館館園実習	4・通年		1					○						兼1	集中
小計(16科目)		—	0	31	0	—			0	0	0	0	0	兼19			
共通教育科目	日本語	日本語I	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1		
		日本語II	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1		
		日本語III	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
		日本語IV	1・2・3・4・2学期		2			○							兼2	オムニバス	
		小計(4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼5		
共通教育科目	日本事情	日本事情I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1		
		日本事情II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1		
		日本事情III	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1		
		日本事情IV	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1		
		日本事情V	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1		
		日本事情VI	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1		
		小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼6		
合計(243科目)		—	12	458	0	—			61	59	14	0	0	兼406			



教育課程等の概要 (事前伺い)																		
(既設 農学部農学科暖地農学コース)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
共通教育	別紙 (43頁~50頁) のとおり																	
専門科目	必修科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○	28	26	7			兼中	オムニバス		
		農場実習 I	2前	2					○	1	2	1			兼中	共同		
		農場実習 II	2後	2					○	1	2	1			兼中	共同		
		栽培学	2前	2				○							兼1	兼中		
		農業気象学	2前	2				○				1						
		植物生理学	2前	2				○		1	2	1				オムニバス		
		外国書購読 I	3前	1					○	3	4	3				兼中	共同	
		外国書購読 II	3後	1					○	3	4	3				兼中	共同	
		卒業論文	4通	6						8	9	3				兼1	兼中	共同
		卒業論文演習 I	4前	1					○	8	9	3				兼1	兼中	共同
		卒業論文演習 II	4後	1					○	8	9	3				兼1	兼中	共同
	小計 (11科目)		—	21	0	0			—	28	26	7	0	0	兼2			
	選択必修科目	作物学実験	2後	1					○	1	1					兼中	オムニバス	
		植物育種学実験	3前	1					○	1	2					兼中	共同	
		昆虫学実験	2前	1					○	1	1					兼中	共同	
		蔬菜花卉園芸学実験	3前	1					○	1	1					兼中	オムニバス	
		果樹園芸学実験	2後	1					○	1		1				兼中	オムニバス	
		農業経営学演習	2後	1					○			1				兼中	オムニバス	
		施設生産学実験	3前	1					○	1	2					兼中	オムニバス	
	小計 (7科目)		—	0	7	0			—	3	4	2	0	0	兼0			
	専門科目	選択科目	農場実習 III	3前	2				○	1	2	1				兼中	共同	
			農場実習 IV	3後	2				○	1	2	1				兼中	共同	
			食作物学	3前	2				○			1						
			熱帯・特用作物学	3後	2				○							兼1		
			熱帯農業論	3前	2				○		3	1	1			兼2	兼中	オムニバス
			植物育種学	2後	2				○		1							
			植物育種学特論	2後	1				○							兼1	兼中	
			生物多様性管理学	3前	2				○			1						
			動物生産学概論	2後	2				○			1						
			家畜管理学	3前	2				○			1						
動物生理学			3前	2				○		1								
昆虫学概論			2後	2				○		1								
暖地病害虫管理学			3前	2				○		1								
植物感染病学			2前	2				○		1								
農業化学			3前	2				○			1					兼中		
暖地園芸学概論			2前	2				○		1								
蔬菜園芸学			2前	2				○			1							
園芸管理学			3前	2				○				1						
溶液栽培学			2後	2				○			1							
花卉園芸学		2後	2				○		1									
観賞植物学		3後	1				○							兼1	兼中			
果樹園芸学		2後	2				○				1							
熱帯園芸学		3後	2				○		1									
農業経営学		2前	2				○				1							
農政学		3後	2				○		1		1				兼1	オムニバス		
食品流通論		3後	2				○				1							
施設生産学		2前	2				○			1								
生物環境システム学		2後	2				○		1									
植物・環境計測学		2後	2				○							兼1	兼中			
施設園芸テクノロジー論		3後	2				○		1	1								
農業環境調整学	3前	2				○			1					兼1	オムニバス			
ポストハーベスト論	2前	2				○		1	1					兼中	オムニバス			
環境保全農業論	3後	2				○		4	5	2				兼中	オムニバス			
無機化学	2前	2				○			1									
植物栄養学	3後	2				○			1									
植物生育環境学	3前	2				○		1										
土壌学	2前	2				○		1										
熱帯環境論	3後	2				○		1						兼1	オムニバス			
生物統計学	3後	2				○		3	4	3				兼中	オムニバス			
農山村資源利用論	3前	2				○					1			兼1				
国際農林水産物市場論	3後	2				○					1			兼2				
動物生態学	2前	2				○			1									
農地環境保全学	3前	2				○			1									
農業インターン実習	2前	1							2					兼中	共同			
中山間地域実習	2通	2												兼中	共同			
植物工場	3前	2				○			2	1				兼1	兼中	オムニバス		
小計 (46科目)		—	0	89	0			—	4	5	3	0	0	兼9				
合計 (64科目)		—	21	96	0			—	28	26	7	0	0	兼11				
学位又は称号		学士 (農学)			学位又は学科の分野				農学関係									

教育課程等の概要 (事前伺い)																
(既設 農学部農学科海洋生物生産学コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育	別紙 (43頁~50頁) のとおり															
専門	フィールドサイエンス実習	1前	1						○	28	26	7			兼1	集中
	科学英語 I	2後	1					○		1	1	1				オムニバス
	科学英語 II	3後	1					○		2	3					オムニバス
	水産学概論	2前	2				○			1	1					オムニバス
	魚類生態学	2後	2				○				1					
	魚病学	2前	2				○					1				
	海洋基礎生態学	2前	2				○									
	水族環境学	3前	2				○			1						
	魚類栄養飼料学	3前	2				○			1						
	水産化学	2後	2				○			1						
	水産物利用学	3前	2				○				1					
	卒業論文	4通	6						○	8	4	1				共同
	卒業論文演習 I	4前	1						○	8	4	1				共同
	卒業論文演習 II	4後	1						○	8	4	1				共同
小計 (14科目)		—	27	0	0			—	28	26	7	0	0	兼1	—	
専門	水産生物学実験	2前		1					○	1						集中
	水族環境学実験	2後		1					○	1	1				兼1	集中 共同
	水産微生物学実験	2後		1					○	1		1				集中 共同
	水族栄養学実験	3前		1					○	1	1					共同
	水産化学実験	2後		1					○	1	1					共同
	魚類生理学実験	2後		1					○	2		1				集中 共同
	分子生物学実験	3前		1					○	2						集中 共同
	水産増殖学実習	3通		1					○	1					兼1	集中 共同
	海洋観測実習	3前		1					○	1	1					集中 共同
	水族病理学実習	3通		1					○	1						集中
水産製造学実習	3前		1					○	1	1					共同	
小計 (11科目)		—	0	11	0			—	4	4	1	0	0	兼1	—	
科目	魚類学	2前		2					○		1					兼1
	魚類学各論	2後		2					○							
	水族増殖学	3前		2					○	1						
	水族遺伝・育種学	3前		2					○	1						
	水質学	2前		2					○		1					
	海洋微生物学	2後		2					○						兼1	
	環境微生物工学	2後		2					○	1						兼1
	浮遊生物学	3前		2					○							
	魚類防疫学	3前		2					○	1						
	水産生物化学	2前		2					○	1						
	魚類生理学	2後		2					○	1						
	水族生理生化学	3前		2					○		1					
	水産食品原料学	3後		2					○		1					
	水産物品質管理学	3前		2					○	1						
	水産社会学	2前		2					○						兼1	集中
	海洋生物資源管理学	2後		2					○						兼1	集中
	藻類増殖学	2前		2					○	1					兼1	集中
	沿岸環境学	2前		2					○		1					
	食品工学	3後		2					○	1						
	品質管理学	3後		2					○	1						
国際・地域栄養食科学	3前		2					○	1	1					オムニバス	
熱帯水産業論	2後		2					○		1					兼1	
食品衛生学	3前		2					○		1						
生物物理化学	3後		2					○	1	1					オムニバス	
食品化学	3前		2					○	1	1					オムニバス	
栄養化学	3前		2					○	1							
水産学実習	3前		1					○	1	1					共同	
小計 (27科目)		—	0	53	0			—	4	4	1	0	0	兼5	—	
合計 (52科目)			—	27	64	0		—	28	26	7	0	0	兼5	—	
学位又は称号		学士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係								

教育課程等の概要 (事前伺い)															
(既設 農学部農学科食料科学コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育	別紙 (43頁～50頁) のとおり														
専門科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○	28	26	7			集中	
	基礎外書購読Ⅰ	2後	1					○	9	4	1			兼2 共同 オムニバス	
	基礎外書購読Ⅱ	3前	1					○	9	4	1			兼2 共同 オムニバス	
	食料科学実験Ⅰ	2後	1					○	2					共同	
	食料科学実験Ⅱ	2後	1					○		2				共同	
	食料科学実験Ⅲ	3前	1					○	1		1			共同	
	食料科学実験Ⅳ	3前	1					○	1	1				共同	
	生命化学実験Ⅰ	2後	1					○	1	1				共同	
	生命化学実験Ⅱ	2後	1					○	2					共同	
	生命化学実験Ⅲ	3前	1					○	1					共同	
	生命化学実験Ⅳ	3前	1					○	1					共同	
	卒業論文	4通	6					○	10	5	1			兼2 共同	
	卒業論文演習Ⅰ	4前	1					○	10	5	1			兼2 共同	
	卒業論文演習Ⅱ	4後	1					○	10	5	1			兼2 共同	
	小計 (14科目)		—	19				—	2	4	1			兼2	
	専門科目	生物化学Ⅰ	2前		2				○			1			
		生物化学Ⅱ	2後		2				○			1			
		無機化学	2前		2				○		1				
		土壌環境科学	2後		2				○	1					
		植物栄養学	2後		2				○		1				
食品製造学		2前		2				○		1					
生物物理化学		2後		2				○		1				兼1 オムニバス	
有機化学Ⅰ		2前		2				○	1						
有機化学Ⅱ		2後		2				○		1					
微生物学		2前		2				○						兼1	
分析化学		2前		2				○	1						
微生物生理学		2後		2				○		1					
動物生理学		2前		2				○	1						
食料科学研修		3通		1				○		2				共同	
食品化学		3前		2				○		1				兼1 オムニバス	
食品衛生学		3前		2				○		1					
食品分析学		3前		2				○		1					
食品工学		3後		2				○	1						
栄養化学		3前		2				○	1						
専門外書購読Ⅰ		3後		1				○	10	5	1			兼2 集中、共同、オムニバス	
専門外書購読Ⅱ		4前		1				○	10	5	1			兼2 集中、共同、オムニバス	
食料科学応用実験Ⅰ		3後		1				○	10	5	1			兼2 集中、共同、オムニバス	
食料科学応用実験Ⅱ		4前		1				○	10	5	1			兼2 集中、共同、オムニバス	
MOT概論		3通		1				○		2				兼1 オムニバス	
食品生化学		2前		2				○	1						
酵素化学		3後		2				○	1						
品質管理学		3後		2				○	1						
食品保存学		3後		2				○		1					
生物環境分析学	4前		2				○	1							
応用微生物学	2後		2				○	1							
植物生育環境学	3前		2				○	1							
生物有機化学	3前		2				○		1						
微生物遺伝子工学	3前		2				○						兼1		
生理活性物質化学	3前		2				○	1							
細菌学	3前		2				○	1							
水産物利用学	3前		2				○		1						
水産物品質管理学	3前		2				○	1							
水産食品原料学	3後		2				○		1						
現代応用生物科学	3後		2				○								
植物工場	3前		2				○	2	1				兼1 集中 オムニバス		
小計 (40科目)		—		74			—	2	4	1			兼4		
合計 (54科目)		—	19	74			—	2	4	1			兼4		
学位又は称号	学士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係								

教育課程等の概要 (事前伺い)															
(既設 農学部農学科生命化学コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育	別紙 (43頁~50頁) のとおり														
必修科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○		28	26	7			兼中
	基礎外書購読Ⅰ	2後	1					○		9	4	1			兼2 共同 オムニバス
	基礎外書購読Ⅱ	3前	1					○		9	4	1			兼2 共同 オムニバス
	生命化学実験Ⅰ	2後	1						○	1	1				共同
	生命化学実験Ⅱ	2後	1						○	2					共同
	生命化学実験Ⅲ	3前	1						○	1					共同
	生命化学実験Ⅳ	3前	1						○	1					共同
	食料科学実験Ⅰ	2後	1						○	2					共同
	食料科学実験Ⅱ	2後	1						○		2				兼1 共同
	食料科学実験Ⅲ	3前	1						○	1		1			共同
	食料科学実験Ⅳ	3前	1						○	1	1				共同
	卒業論文	4通	6						○	10	5	1			兼2 共同
	卒業論文演習Ⅰ	4前	1						○	10	5	1			兼2 共同
	卒業論文演習Ⅱ	4後	1						○	10	5	1			兼2 共同
	小計 ( 14科目)	—	19					—	28	26	7	0	0	兼3	
専門科目	有機化学Ⅰ	2前		2				○		1					
	分子遺伝学	2前		2				○		1					
	分析化学	2前		2				○		1					
	土壌学	2前		2				○		1					
	微生物学	2前		2				○							兼1
	植物感染病学	2前		2				○		1					
	有機化学Ⅱ	2後		2				○			1				
	動物生理学	2前		2				○		1					
	動物生産・繁殖学	2後		2				○		1					
	微生物生理学	2後		2				○			1				
	植物栄養学	2後		2				○			1				
	生物化学Ⅰ	2前		2				○				1			
	生物化学Ⅱ	2後		2				○				1			
	生物物理化学	2後		2				○			1				兼1 オムニバス
	無機化学	2前		2				○			1				
	食品製造学	2前		2				○			1				
	細菌学	3前		2				○		1					
	生理活性物質化学	3前		2				○		1					
	動物発生工学	3前		2				○		1					
	応用微生物学	2後		2				○		1					
	植物生育環境学	3前		2				○		1					
	専門外国語Ⅰ	3後		1					○	10	5	1			兼2 兼中、共同、オムニバス
	生命化学演習	3後		1					○	10	5	1			兼2 兼中、共同、オムニバス
	生命化学応用実験Ⅰ	3後		1					○	10	5	1			兼2 兼中、共同、オムニバス
	生命化学応用実験Ⅱ	4前		1					○	10	5	1			兼2 兼中、共同、オムニバス
	微生物遺伝子工学	3前		2					○						兼1
	生物有機化学	3前		2					○		1				
	農業化学	3前		2					○		1				兼中
	土壌微生物生態学	3後		2					○	1					
	植物微生物相互作用論	3後		2					○	1					
	熱帯生物環境化学	3後		2					○	1					
	先端技術研修	2通		1						1					
	食品化学	3前		2					○		1				兼1 オムニバス
	食品保存学	3後		2					○		1				
食品分析学	3前		2					○		1					
食品衛生学	3前		2					○		1					
食品工学	3後		2					○	1						
品質管理学	3後		2					○	1						
食品生化学	2前		2					○	1						
栄養化学	3前		2					○	1						
酵素化学	3後		2					○	1						
生物環境分析学	4前		2					○	1						
専門外国語Ⅱ	4前		1						10	5	1			兼2 兼中、共同、オムニバス	
水産物利用学	3前		2					○		1					
現代応用生物学	3後		2					○	1						
植物工場	3前		2					○	2	1				兼1 兼中 オムニバス	
	小計 ( 46科目)	—	86					—	10	5	1	0	0	兼4	
合計 ( 60科目)			—	19	84			—	28	26	7	0	0	兼4	
学位又は称号		学士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係							

教育課程等の概要 (事前伺い)															
(既設 農学部農学科自然環境学コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育	別紙 (43頁～50頁) のとおり														
専	必修科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○	28	26	7			集中, オムニバス
		農業気象学	2前	2			○				1				兼1
		生物環境システム学	2後	2			○				1				
		動物生態学	2前	2			○					1			
		海洋基礎生態学	2前	2			○				1				
		昆虫学概論	2後	2			○				1				
		生物多様性管理学	3前	2			○					1			
		山地保全学	2後	2			○				1				
		生物有機化学	3前	2			○					1			
		廃棄物処理学	2前	2			○				1				
		自然環境学実習Ⅰ	2前	1					○	4	4				オムニバス
		自然環境学実習Ⅱ	2前	1					○	4	4				オムニバス
		自然環境学実習Ⅲ	2後	1					○	4	4				オムニバス
		自然環境学実習Ⅳ	2後	1					○	4	4				オムニバス
		自然環境学実験Ⅰ	3前	1					○	4	4				オムニバス
		自然環境学実験Ⅱ	3前	1					○	4	4				オムニバス
		外国書購読Ⅰ	3前	1				○		4	4				共同
		外国書購読Ⅱ	3後	1				○		4	4				共同
		卒業論文	4通	6					○	11	8	2			兼2 共同
		卒業論文演習Ⅰ	4前	1					○	11	8	2			兼2 共同
		卒業論文演習Ⅱ	4後	1					○	11	8	2			兼2 共同
	小計 (21科目)	—	35	0	0			—	28	26	7	0	0	兼3	
門	選択科目	人間・環境相互影響論	2前		2			○		1					オムニバス
		自然エネルギー利用学	3前		2			○		1	1				オムニバス
		景観デザイン	2前		2			○		1					
		水科学	3後		2			○		1					
		自然環境統計学	3後		2			○			1				
		栽培学	2前		2			○				1			兼1 集中
		沿岸環境学	3前		2			○				1			兼1
		熱帯環境学	2後		2			○				1			兼1
		熱帯水産業論	2後		2			○		1	1				兼1 オムニバス
		水質学	2前		2			○			1				
		海洋微生物学	2後		2			○		1					兼1
		魚類生態学	3後		2			○			1				
		植物生理学	2前		2			○		1	2	1			オムニバス
		森林育成学	3前		2			○		1					
		無機化学	3前		2			○			1				
		土壌環境科学	2後		2			○		1					
		土壌環境物理学	2後		2			○			1	1			
		森林動物学	2後		2			○		1					
		水資源学	3前		2			○			1	1			兼1
		昆虫学実験	2前		1					○	1	2			集中 共同
		植物生育環境学	3前		2			○			1				
		流域環境学	3前		2			○				2			オムニバス
		リモートセンシング	3前		2			○				1			
		リモートセンシング演習	3前		1				○			1			
		環境管理評価学	3後		2			○			1	1			オムニバス
		水族環境学	3前		2			○			1				
		水族環境学実験	3後		1				○		1	1			集中 共同
		森林保護学	3後		2			○				1			
		環境保全農業論	3後		2			○		4	5	2			オムニバス
		暖地病害虫管理学	3前		2			○		1					
		植物・環境計測学	3後		2			○							兼1 集中
		科学・技術の倫理	2後		2			○		1					
		農業化学	3前		2			○				1			集中
農業環境調節学	3前		2			○				1			兼1 集中 オムニバス		
果樹園芸学実験	2後		1					○	1		1		集中 オムニバス		
作物学実験	2後		1					○		1			集中		
施設生産学実験	3前		1					○	1	2			集中 共同 オムニバス		
	小計 (37科目)	—	0	68	0			—	4	5	2	0	0	兼7	
	合計 (58科目)	—	35	68	0			—	28	26	7	0	0	兼9	
学位又は称号		学士 (農学)			学位又は学科の分野				農学関係						

教育課程等の概要 (事前伺い)																	
(既設 農学部農学科流域環境工学コース)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育	別紙 (43頁～50頁) のとおり																
専	必修科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○	28	26	7			兼1	集中	
		測量学	2前	2				○		1	1				兼1	共同	
		測量学実習	2前	1					○	1	1					共同	
		水理学・実験	2後	3				○			1					※実験	
		土質力学・実験	3後	3				○		1						※実験	
		構造力学・演習	2後	3				○		1						※演習	
		流域計画学Ⅰ	3前	3				○		1	1					オムニバス	
		流域計画学Ⅱ	3後	3				○			1						
		環境情報学・演習	2前	3				○		1	1					※演習	
		環境水質学・実験	2前	3				○		1						※実験	
		科学・技術の倫理	2後	2				○		1							
		環境材料学・実験	3前	3				○			1					※実験	
		卒業論文	4通	6						○	6	6					共同
		卒業論文演習Ⅰ	4前	1					○		6	6					共同
		卒業論文演習Ⅱ	4後	1					○		6	6					共同
	小計 (15科目)	—	38				—		28	26	7	0	0	兼1			
門	選択科目	応用水理学	3前		2			○			1	1					
		地盤防災学	3後		2			○		1							
		応用構造力学	3前		3			○		1							
		流域水環境保全学	2後		2			○		1							
		環境管理評価学	2後		2			○		1	1						
		水資源学	2前		2			○									
		土壌環境物理学	2後		2			○			1						
		地域計画学	2後		2			○			1						
		農地環境保全学	3前		2			○			1						
		科学技術英語Ⅰ	3前		2				○		1						
		科学技術英語Ⅱ	3後		2				○		1						
		環境工学実習	3前		1					○		1				集中	
		山地保全学	2後		2			○		1							
		土壌学	2前		2			○		1							
		制水施設工学	2後		2			○			1						
		水科学	2後		2			○		1							
		景観デザイン	2前		2			○		1							
		流域生態環境学	3前		2			○				2				オムニバス	
		農業気象学	2前		2			○				1					
		科学技術英語Ⅲ	4前		2				○		1	1				オムニバス	
		流域環境工学特別講義Ⅰ	2前		1			○			2	1				集中 共同	
		流域環境工学特別講義Ⅱ	2後		1			○			2	1				集中 共同	
		流域環境工学特別講義Ⅲ	3前		1			○			2	1				集中 共同	
		流域環境工学特別講義Ⅳ	3後		1			○			2	1				集中 共同	
環境保全農業論	3後		2			○			4	5	2			オムニバス			
人間・環境相互影響論	3前		2			○			1								
地理情報システム学	2後		2			○			1								
地理情報システム学演習	2後		1				○		1								
リモートセンシング	2前		2			○				1							
リモートセンシング演習	2前		1				○			1							
沿岸環境学	2前		2			○				1							
	小計 (31科目)	—	56				—		4	5	2	0	0	兼1			
	合計 (46科目)	—	38	56			—		28	26	7	0	0	兼1	—		
学位又は称号		学士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係									

教育課程等の概要（事前伺い）

（既設 農学部農学科森林科学コース）

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育	別紙（43頁～50頁）のとおり															
専門科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○	28	26	7				兼中 オムニバス	
	森林育成学	3前	2			○			1							
	樹木学実習	2前	1					○		1						
	地理情報システム学	2後	2			○			1							
	地理情報システム学演習	2後	1				○		1							
	森林統計学	2前	2			○				1						
	森林測定学	2前	2			○									兼1 兼中	
	森林計画学	2前	2			○									兼中	
	森林経済学	2後	2			○				1						
	森林環境政策学	3前	2			○				1						
	木材物理学	2後	2			○					1					
	木質成分化学	2前	2			○			1							
	測量学	2前	2			○			1	1					共同 オムニバス	
	測量学実習	2前	1					○	1	1					共同 オムニバス	
	森林測量学	2後	2			○										
	森林測量学実習	2後	1					○								
	リモートセンシング	3前	2			○				1						
	リモートセンシング演習	3前	1					○		1						
	木材利用学実験Ⅰ(A)	2後	1					○		1	1				兼中 共同 オムニバス	
	木材利用学実験Ⅰ(B)	2後	1					○		1	1				兼中 共同 オムニバス	
	木材利用学実験Ⅱ	3前	1					○		1	1				兼中 共同 オムニバス	
	山地測量設計実習	2前	2					○	2	2					兼中 共同 オムニバス	
	森林生産技術実習	2前	1					○	1	1					兼中	
	森林科学専門実習	3前	2					○	1	2	1				兼中	
	森林科学実習	2通	1					○	3	3	2				兼中 共同 オムニバス	
	外国書購読Ⅰ	3前	1					○	3	3	2				共同	
	外国書購読Ⅱ	3後	1					○	3	3	2				共同	
	卒業論文演習Ⅰ	4前	1					○	4	6	2				共同	
	卒業論文演習Ⅱ	4後	1					○	4	6	2				共同	
	卒業論文	4通	6					○	4	6	2				共同	
		小計（30科目）	—	49	0	0	—	—	—	28	26	7				兼2
	専門科目	森林保護学	2後		2		○				1					
森林動物学		2後		2		○			1							
森林生態学実験		3前		1				○	1						兼1 兼中	
樹病学		3前		2		○									兼中	
樹病学実習		3前		1				○							兼中	
地域森林管理学		3前		2		○			1							
森林生産施設学		2後		2		○				1						
森林作業システム学		2後		2		○				1					兼中	
森林生産工学実験		3後		1				○	1	1					兼1 オムニバス	
応用森林統計学		2後		2		○				1					兼中	
バイオマスエネルギー利用学		3後		2		○			1	1						
森林施業論		2後		2		○									兼1	
森林測定・計画演習		2前		1				○							兼1	
森林経営学		3前		2		○					1					
森林経営学実習		3後		1				○			1					
木材組織学		2前		2		○					1					
きのこ資源利用学		3後		2		○			1							
木質資源材料学		2後		2		○				1						
森林資源化学特論		3前		2		○				1						
林産製造学		2後		2		○			1							
熱帯林業論		2前		2		○				1	1					
国際農林水産市場論		3後		2		○			1		1				兼2 オムニバス	
生物多様性管理学		3前		2		○				1						
植物生育環境学		3前		2		○			1							
熱帯環境論		2後		2		○			1							
土質力学・実験		3後		3		○			1							
土壌環境物理学		3後		2		○				1	1					
山地保全学		2後		2		○			1							
景観デザイン		2前		2		○			1							
農業気象学		3前		2		○					1					
自然エネルギー利用学		3前		2		○			1	1						
土壌学		4前		2		○			1							
応用地理情報システム学	4前		2		○			1	1					兼中 オムニバス		
地域計画学	2後		2		○				1	1						
農地環境保全学	2前		2		○				1	1						
水資源学	4前		2		○				1	1				兼1		
地盤防災学	4後		2		○			1								
環境管理評価学	2後		2		○			1	1							

	構造力学・演習	3後		2		○	○		1					
	小計 (39科目)	—	0	74	0	—	—		3	3	2			兼7
	合計 (69科目)	—	49	74	0	—	—		28	26	7			兼9
学位又は称号	学士 (農学)	学位又は学科の分野			農学関係									



教育課程等の概要 (事前伺い)																
(既設 農学部農学科国際支援学コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育	別紙 (43頁～50頁) のとおり															
必修科目	フィールドサイエンス実習	1前	1					○	28	26	7			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1	集中 集中 集中 オムニバス オムニバス オムニバス 集中 オムニバス 集中 共同 集中 共同 集中 共同 共同 共同	
	実用英会話 I	2前	2				○							兼1	集中	
	実用英会話 II	2後	2				○							兼1	集中	
	実用英会話 III	3前	2				○							兼1	集中	
	実用英作文 I	2前	2				○							兼1	集中	
	熱帯農業論	2前	2				○		3	4				兼1	集中 オムニバス	
	熱帯林業論	2前	2				○		3	3				兼3	オムニバス	
	熱帯環境論	2後	2				○		1							
	熱帯水産業論	2後	2				○		1	1				兼1	オムニバス	
	国際農林水産業開発協力論	2後	2				○		1					兼1	集中	
	国際農林水産物市場論	3後	2				○				1			兼2	オムニバス	
	海外フィールドサイエンス実習 I	2前	2					○	3	4				兼1	集中 共同	
	農場実習 I	2前	2					○	1	2	1				共同	
	森林生産技術実習	2前	1					○	1	2					集中	
	水産学実習	3前	1					○	1	1					集中	
	外国書購読 I	3前	1						3	4				兼1		
	外国書購読 II	3後	1					○	3	4				兼1		
	海外課題研究	4通	6						3	4				兼1	共同	
	海外課題研究演習 I	4前	1					○	3	4				兼1	共同	
	海外課題研究演習 II	4後	1					○	3	4				兼1	共同	
小計 ( 20 科目)		—	37	0	0		—	28	26	7	0	0	兼7			
選択必修科目	環境情報学・演習	3前		3			○	○	1	1					オムニバス	
	森林統計学	2前		2			○			1						
	生物統計学	2後		2			○		2	4	3				オムニバス	
小計 ( 3 科目)		—	0	7	0		—	3	4	3	0	0	兼0			
専門科目	実用英会話IV	3後		2			○		3	4					集中 オムニバス	
	実用英作文 II	2後		2			○						兼1			
	海外フィールドサイエンス実習 II	2通		2				○	3	4				兼1	集中 共同	
	海外フィールドサイエンス実習 III	2通		2				○	3	4				兼1	集中 共同	
	海外フィールドサイエンス実習 IV	3通		2				○	3	4				兼1	集中 共同	
	国際農林水産業支援学特論	2通		2			○		1					兼1	集中	
	農山村資源利用論	2前		2			○		1	2				兼1	オムニバス	
	国際・地域栄養食科学	3前		2			○		1	1				兼1	オムニバス	
	沿岸環境学	3前		2			○			1						
	土壌学	2前		2			○		1							
	土壌微生物生態学	3後		2			○		1							
	植物資源機能科学	2後		2			○		1							
	測量学	3前		2			○		1	2				兼1	オムニバス	
	リモートセンシング	3前		2			○			1						
	生物多様性管理学	3前		2			○			1						
	熱帯生物環境化学	3後		2			○		1							
	栽培学	2前		2			○							兼1	集中	
	環境保全農業論	3後		2			○		4	5	2			兼1	オムニバス	
	熱帯・特用作物学	3後		2			○							兼1		
	熱帯園芸学	3後		2			○		1							
	昆虫学概論	3後		2			○		1							
	森林育成学	3前		2			○		1							
	水産社会学	2前		2			○							兼1	集中	
	分析化学	2前		2			○		1							
	魚類学	2前		2			○			1						
	魚類生理学	2後		2			○		1							
	植物生理学	2前		2			○		1	2	1			兼1	オムニバス	
	海洋基礎生態学	3前		2			○		1					兼1		
	食用作物学	3前		2			○			1						
	農政学	3後		2			○		1		1			兼1		
魚類生態学	3後		2			○			1				兼1			
魚類学各論	3後		2			○		1					兼1			
熱帯農学総合学習	3前		2			○							兼1	集中		
リモートセンシング演習	3前		1				○		1							
農業インターン実習	2通		1				○	3	4				兼1	集中 共同		
中山間地域実習	2通		1				○	1					兼1	集中 共同		
樹木学実習	2前		1				○		1							
山地測量設計実習	2前		1				○	3	4					集中 共同		
森林経営学実習	3後		1				○			1						
魚類生理学実験	2後		1				○	2		1				集中 共同		

作物学実験	2後		1			○		1							兼1	集中 共同
測量学実習	3前		1			○	1	2							兼1	集中 共同
水産増殖学実習	3通		1			○	1	1								集中 共同
地域未来創成入門	1前		1		○			1								集中 共同
カルチャーシェアリング	1通		1		○		2	1								集中 共同
ベーシック国内サービスラーニング	1前		4			○	2	1								集中 共同
ベーシック海外サービスラーニング	1後		4			○	2	1								集中 共同
小計 ( 47 科目)	—	0	87	0	—		4	5	2	0	0			兼8		
合計 ( 70 科目)	—	37	94	0	—		28	26	7	0	0			兼13		—
学位又は称号	学士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係									

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次科目	大学基礎論	1・1学期	2			○			4	5				兼3	共同
	学問基礎論	1・2学期	2			○			4	5	3			兼4	共同
	課題探求実践セミナー	2・1学期	2				○		2	3	1			兼9	共同
	大学英語入門	1・1学期	2				○								
	英会話	1・2学期	2				○								
	情報処理	1・1学期	2				○		3	5					
	小計 (6科目)	—	—	12	0	0	—	—	13	18	4	0	0	兼16	
共通教育科目 教養科目 人文分野	食の哲学	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	哲学を学ぶ	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	哲学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	哲学	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	神話と儀礼	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	世界史の中の宗教	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	文化人類学入門	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	生物多様性から考える食と農の未来	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	リラクセーションの哲学	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	リラクセーションの哲学	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	心理学を学ぶ	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	心理学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	対人コミュニケーション論を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	Psychology for beginners	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	地理学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	地理学を学ぶ	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	歴史を考える	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	歴史を考える	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	歴史を考える	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	江戸時代の産業と地域社会	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	映像を通して考える中国近現代の地域社会	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	風景と空間の科学	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	土佐の自由民権運動	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	イネと青銅と鉄の伝来	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	空想の博物学	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	文学を考える (芥川龍之介の作品を読む)	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	文学を考える (芥川龍之介の作品を読む)	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
	源氏物語の恋愛と結婚	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	集中
	小さな地名の調べかた	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	
	小さな地名の調べかた	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
外国文学	1・2・3・4・1学期	2			○								兼5	オムニバス	
日本語方言の探究	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1		
教養の漢字学	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1		
文学と社会	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1		
彫刻入門	1・2・3・4・1学期	2				○							兼1		
合唱初級	1・2・3・4・2学期	2				○							兼1		
オペラ入門	1・2・3・4・1学期	2				○							兼1		
吹奏楽を楽しもう	1・2・3・4・2学期	2					○						兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	人文分野	美術を学ぶ		2		○									兼1	
		書道入門	1・2・3・4・1学期	2				○							兼1	
		木彫入門	1・2・3・4・1学期	2				○							兼1	
		近代美術への接近	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
		文化財保存科学概論	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
		近現代哲学	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	
		四国の歴史と文化	1・2・3・4・1学期	2			○								兼1	メディア
		阿波学	1・2・3・4・通年	2			○								兼1	メディア
		「モラエスの徳島」～グローバリズムと異邦人～	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	メディア
		日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1・2・3・4・2学期	2			○								兼1	メディア
	小計 (48科目)	—	0	96	0	—			0	0	0	0	0	0	兼52	
	社会分野	国際関係を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		政治を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		政治を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		社会学を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		社会学を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		法を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		憲法を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		企業経営を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		企業経営を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		男女共同参画社会を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼7	オムニバス 集中
		企業と労働を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		経済を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		お金と経済	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		子どもの発達と生活	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		食生活論入門	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		市民社会論入門	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		社会調査データの分析	1・2・3・4・2学期		2		○								兼3	オムニバス
		森との共生を探る	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		市民生活と法	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		平和と軍縮	1・2・3・4・1学期		2		○								兼4	オムニバス
		日本の刑事司法を考える	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		メディア社会論	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		英語レクチャー(Global Issue)	1・2・3・4・2学期		2		○								兼3	オムニバス
		環境社会論入門	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		消費者問題と法	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		障害者支援入門	1・2・1学期		2		○								兼1	
		障害者支援の理論と実践	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		現代日本の社会と政治	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通教育科目	社会分野	経済史入門-比較鉄道史研究から見た工業化類型論-	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	オムニバス
		福島原発事故を考える	1・2・3・4・1学期		2		○								兼9	
		大学政策論入門	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		非営利法人経営論入門	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		社会起業論	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		まちづくり論	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		スポーツ文化論	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		食と農の経済学	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		社会的経営論	1・2・3・4・2学期		2		○								兼2	
		川と人の生活誌	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		地域活性化について学ぶ	1・2・3・4・1学期		2		○								兼5	
		高知の中小企業を知る	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		高知県の産業と観光	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		サービスラーニング演習	1・2・3・4・通年		2			○							兼4	
		中山間地域の生活と環境Ⅰ	1・2・3・4・通年		2			○							兼2	
		中山間地域の生活と環境Ⅱ	1・2・3・4・通年		2			○							兼2	
		地域協働企画立案	1・2・3・4・通年		2			○							兼2	
		地域協働実習Ⅰ	2・3・4・通年		2			○							兼2	
		地域協働自己分析	2・3・4・通年		2			○							兼2	
		社会協働実践	1・2・3・4・通年		2			○							兼1	
		協働実践自己分析	1・2・3・4・通年		2			○							兼2	
	ソーシャルキャピタル論入門	1・2・3・4・通年		2			○							兼1		
	地域の中で武道を育てる	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1		
	四国の地域振興	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
	情報社会論	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1		
	地方政府論	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1		
	地域コンテンツと知財管理	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
	香川を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
	小計 (62科目)		—	0	124	0	—			0	0	0	0	0	兼97	
	生命・医療分野	スポーツ科学講義A	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	オムニバス
		スポーツ科学講義B	1・2・3・4・2学期		2		○								兼2	
		スポーツ科学講義C	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		スポーツ科学講義D	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
スポーツ科学実技 (バドミントン)		1・2・3・4・1学期		1				○						兼2		
スポーツ科学実技 (バドミントン)		1・2・3・4・2学期		1				○						兼2		
スポーツ科学実技 (硬式テニス)		1・2・3・4・1学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (硬式テニス)		1・2・3・4・2学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (ゴルフ)		1・2・3・4・1学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (ゴルフ)		1・2・3・4・2学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (卓球)		1・2・3・4・1学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (卓球)		1・2・3・4・2学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (ネット型ゲーム)		1・2・3・4・1学期		1				○						兼1		
スポーツ科学実技 (フィットネス)	1・2・3・4・1学期		1				○						兼1			
スポーツ科学実技 (ボウリング)	1・2・3・4・1学期		1				○						兼1			
スポーツ科学実技 (一から学べる筋力トレーニング)	1・2・3・4・2学期		1				○						兼1			

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
生命・医療分野	スポーツ科学実技 (エアロビクス)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1		
	スポーツ科学実技 (剣道)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1		
	スポーツ科学実技 (バスケットボール)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1		
	スポーツ科学実技 (ディスクゲーム)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1		
	スポーツ科学実技 (ジョギング入門)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1		
	スポーツ科学実技 (スキーⅠ)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1	集中	
	スポーツ科学実技 (スキーⅡ)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1	集中	
	スポーツ科学実技 (スノーボードⅠ)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1	集中	
	スポーツ科学実技 (スノーボードⅡ)	1・2・3・4・2学期		1				○								兼1	集中	
	健康A	1・2・3・4・1学期		2			○									兼5	オムニバス	
	健康B	1・2・3・4・1学期		2			○									兼5	オムニバス	
	健康C	1・2・3・4・1学期		2			○									兼6	オムニバス	
	健康D	1・2・3・4・1学期		2			○									兼6	オムニバス	
	アルコール学概論	1・2・3・4・1学期		2			○									兼3	オムニバス	
	知の探訪	1・2・3・4・2学期		2			○									兼1	メディア	
	小計 (31科目)		—	0	41	0	—			0	0	0	0	0	0	兼54		
	共通教育科目	教養科目	数理の世界	1・2・3・4・1学期		2			○								兼3	オムニバス
			数理の世界	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
			数理の世界	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
			法化学概論	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
			自然の法則	1・2・3・4・1学期		2			○								兼7	オムニバス
			フードサイエンスの世界	1・2・3・4・1学期		2			○		7	5					兼3	オムニバス
			ライフサイエンスの世界	1・2・3・4・2学期		2			○		9	5					兼1	オムニバス
			物質の科学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼14	オムニバス
			地球と宇宙	1・2・3・4・2学期		2			○								兼2	オムニバス
			地球と宇宙	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
			自然科学の歴史	1・2・3・4・2学期		2			○								兼4	オムニバス
			生物の多様性と生存戦略	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
		土佐の自然と農業	1・2・3・4・1学期		2			○		5	6	3				兼1	オムニバス	
		自然分野	環境化学物質をどう考えるか	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
			渚の自然史	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
色彩の世界			1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
環境を考える			1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
黒潮圏科学の魅力			1・2・3・4・1学期		2			○								兼14	オムニバス	
動物の進化			1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
心の仕組みと脳発達障害			1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
初学者の為の物理入門			1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
里山・里川の環境科学			1・2・3・4・1学期		2			○		3	3						オムニバス	
大地の災害			1・2・3・4・1学期		2			○								兼2	オムニバス	
地震の災害			1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
流れと波の災害	1・2・3・4・2学期			2			○		1						兼2	オムニバス		
災害と生きる	1・2・3・4・2学期		2			○		1						兼8	オムニバス			
魚と食と健康	1・2・3・4・2学期		2			○		5	4	1					オムニバス			
数の概念入門	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1				
海洋生物学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼4	オムニバス			

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然分野	自然環境と人間	1・2・3・4・2学期		2		○			6	7				兼2	オムニバス
	生態系への人為的インパクト	1・2・3・4・2学期		2		○								兼2	オムニバス
	森林と地球環境	1・2・3・4・2学期		2		○			4	5	2			兼2	オムニバス
	生物時計のはなし	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
	体験する数学	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
	みのまわりの科学	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
	高知の自然と地質資源	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
	高知の農業と自然を实践して学ぶ	1・2・3・4・1学期		2			○		4	3	2			兼1	オムニバス 集中
	土佐の海の環境学Ⅰ：柏島から考える	1・2・3・4・通年		2			○							兼1	集中
	木の旅を辿る	1・2・3・4・1学期		2			○		3	3	2			兼1	オムニバス 集中
	コンピュータと教育	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1	メディア
	四国の自然環境と防災	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1	メディア
	情報のいろは	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1	メディア
	サイエンスリテラシーの化学	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1	メディア
小計 (43科目)		—	0	86	0	—	—	48	41	10	0	0	兼94		
教養科目	教養英会話	2・3・4・1学期		2			○							兼3	
	教養英会話	2・3・4・2学期		2			○							兼4	
	TOEIC英語	1・2・3・4・1学期		2			○							兼2	
	TOEIC英語	1・2・3・4・2学期		2			○							兼3	
	国際英語	1・2・3・4・1学期		2			○							兼2	
	リーディング・スキル	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1	
	リーディング・スキル	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1	
	ドイツ語I	1・2・3・4・1学期		2			○							兼9	
	ドイツ語I	1・2・3・4・2学期		2			○							兼4	
	ドイツ語II	1・2・3・4・2学期		2			○							兼4	
	フランス語I	1・2・3・4・1学期		2			○							兼2	
	フランス語II	1・2・3・4・2学期		2			○							兼2	
	中国語I	1・2・3・4・1学期		2			○							兼9	
	中国語I	1・2・3・4・2学期		2			○							兼6	
	中国語II	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1	
	中国語II	1・2・3・4・2学期		2			○							兼5	
	韓国語 (朝鮮語) I	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1	
韓国語 (朝鮮語) I	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
韓国語 (朝鮮語) II	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
スペイン語I	1・2・3・4・1学期		2			○							兼1		
スペイン語II	1・2・3・4・2学期		2			○							兼1		
小計 (21科目)		—	0	42	0	—	—	0	0	0	0	0	兼63		
共通専門科目	基礎教育英語	2・3・4・1学期		2			○							兼7	
	基礎教育英語	2・3・4・2学期		2			○							兼5	
	基礎教育英語 (リスニング)	2・3・4・2学期		2			○							兼2	
	基礎教育英語E P I C 1 A	2・3・4・2学期		1			○							兼1	
	基礎教育英語E P I C 1 B	2・3・4・2学期		1			○							兼1	
	基礎教育英語E P I C 2 A	2・3・4・2学期		1			○							兼1	
	基礎教育英語E P I C 2 B	2・3・4・2学期		1			○							兼1	
	基礎教育英語E P I C 3 A	2・3・4・2学期		1			○							兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通 教育 科目	基礎教育英語E P I C 3 B	2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	基礎教育英語 (CBLT英語)	2・3・4・1学期		2				○							兼1	
	基礎教育ドイツ語	2・3・4・1学期		2				○							兼2	
	基礎教育ドイツ語	2・3・4・2学期		2				○							兼2	
	基礎教育フランス語	2・3・4・1学期		2				○							兼1	
	基礎教育フランス語	2・3・4・2学期		2				○							兼1	
	基礎教育中国語	2・3・4・1学期		2				○							兼3	
	基礎教育中国語	2・3・4・2学期		2				○							兼3	
	地誌学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	哲学と科学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	歴史研究の基礎	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	東洋史研究の基礎	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	日本語学の基礎	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	日本語文化研究の基礎	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	現代文化論	1・2・3・4・2学期		2			○								兼5	オムニバス
	日本語表現技法	2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	生涯教育論	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	集中
	生涯教育論	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	憲法I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	政治学概論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	法学入門	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	経済学概論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	現代の企業行動	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	民法I	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	社会学概論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	地域経済概説	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	海外社会事情	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	社会制度設計論	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	企画立案事業計画基礎演習	1・2・3・4・2学期		2					○						兼1	
	非営利組織経営基礎演習	1・2・3・4・2学期		2					○						兼1	
	社会調査論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	社会調査方法論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	統計解析の基礎	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	質的調査法	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	多変量解析	1・2・3・4・通年		2			○								兼1	集中
	ファシリテーション演習	1・2・3・4・2学期		2					○						兼1	集中
	微分・積分学の基礎	1・2・3・4・通年		2			○								兼2	オムニバス
	物理学の基礎	1・2・3・4・通年		2			○								兼2	オムニバス
	化学の基礎	1・2・3・4・通年		2			○								兼2	オムニバス
	生物学の基礎	1・2・3・4・通年		2			○								兼13	オムニバス
地球科学の基礎	1・2・3・4・通年		2			○								兼14	オムニバス	
微分積分学概論AI	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
微分積分学概論AI	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
微分積分学概論AII	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
微分積分学概論AII	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		



教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通 教育 科目	基礎 科目	微分積分学概論BI	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		微分積分学概論BII	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		微分積分学概論C	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		線形代数学概論A	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		線形代数学概論A	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		線形代数学概論B	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		線形代数学概論B	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		論理と集合	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		論理と集合	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		確率・統計学概論	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		物理学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		物理学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		物理学概論I	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		物理学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		化学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		化学概論I	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		化学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		化学概論II	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		化学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		生物学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		生物学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		生物学概論I	1・2・3・4・2学期		2		○								兼2	オムニバス
		生物学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		生物学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼2	オムニバス
		地球科学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼2	オムニバス
		地球科学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		地球科学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼2	オムニバス
		地球科学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		情報科学概論I	1・2・3・4・1学期		2		○								兼1	
		情報科学概論II	1・2・3・4・2学期		2		○								兼1	
		基礎物理学実験	1・2・3・4・1学期		2					○					兼2	オムニバス
		基礎物理学実験	1・2・3・4・2学期		2					○					兼2	オムニバス
		基礎化学実験	1・2・3・4・1学期		2					○					兼3	オムニバス
		基礎化学実験	1・2・3・4・2学期		2					○					兼3	オムニバス
基礎化学実験	1・2・3・4・1学期		2					○	1				集中			
基礎生物学実験	1・2・3・4・1学期		2					○					兼18	オムニバス		
基礎生物学実験	1・2・3・4・2学期		2					○					兼18	オムニバス		
基礎生物学実験	1・2・3・4・1学期		2					○					兼2	オムニバス 集中		
基礎生物学実験	1・2・3・4・2学期		2					○					兼2	オムニバス 集中		
基礎地学実験	1・2・3・4・1学期		2					○					兼16	オムニバス		
基礎地学実験	1・2・3・4・2学期		2					○					兼15	オムニバス		
海洋生物学基礎実習	1・2・3・4・2学期		2					○					兼4	オムニバス 集中		
環食同源論入門	1・2・3・4・2学期		2			○			6	3			兼2	オムニバス		
微生物学概論	1・2・3・4・1学期		2			○			1							
植物遺伝学概論	1・2・3・4・1学期		2			○			1							

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(既設 農学部農学科 共通教育科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	植物生態学概論	1・2・3・4・1学期		2		○				1						
	分析化学概論	1・2・3・4・1学期		2		○			1							
	生命の科学	1・2・3・4・1学期		2		○			1							
	遺伝資源の利用と保全	1・2・3・4・1学期		2		○			2							オムニバス
	植物バイオテクノロジー概論	1・2・3・4・2学期		2		○			3							オムニバス
小計 (103科目)		—	0	200	0	—			16	4	0	0	0	兼223		
共通専門科目 キャリア形成支援科目	CBI実習I	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBI実習II	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBI実習III	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBI実習IV	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBIキャリア開発講座A	2・1学期		2		○									兼1	集中
	CBIキャリア開発講座B	2・1学期		2		○									兼1	集中
	CBI自己分析	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBI企画立案	1・2学期		2				○							兼4	オムニバス 集中
	キャリアパス演習—ライティング養成講座—	1・2・3・4・1学期		2				○							兼1	
	キャリアパス演習—プライベートデザイン講座—	1・2・3・4・2学期		2				○							兼1	
	進路決定支援演習—自分プレゼンテーション法—	1・2・3・4・1学期		2				○							兼1	集中
	チームワークを考える	1・2・3・4・1学期		2				○							兼1	
	地域政策演習 (ふるさと活性ゼミ)	1・2・3・4・2学期		2				○							兼1	
	教育学概論B	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	教育学概論C	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	教育学概論D	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	教育学概論E	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	教育心理学概論B	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	教育心理学概論C	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	教育心理学概論D	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	介護等体験 (事前指導、事後指導を含む)	2・3・4・通年		2					○						兼1	集中
	博物館学内実習	3・4・通年		2					○						兼1	集中
	博物館館園実習	4・通年		1					○						兼1	集中
小計 (23科目)		—	0	45	0	—			0	0	0	0	0	兼26		
日本語	日本語I	1・2・3・4・1学期		2				○							兼1	
	日本語II	1・2・3・4・1学期		2				○							兼1	
	日本語III	1・2・3・4・2学期		2				○							兼1	
	日本語IV	1・2・3・4・2学期		2				○							兼2	オムニバス
	小計 (4科目)		—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼5	
日本事情	日本事情I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	日本事情II	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	日本事情III	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	日本事情IV	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
	日本事情V	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	日本事情VI	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	
小計 (6科目)		—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼6		
合計 (347科目)		—	12	654	0	—			77	63	14	0	0	兼636		